

# 滋賀県 景況調査結果報告書

令和4年度 第3四半期  
(令和4年10～12月期)

## 目次

1. 調査概要	2
2. 全体の結果	5
3. 規模別の結果	9
4. 業種別の結果	13
5. 追加設問の結果	24

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期(令和4年10～12月期)の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査結果報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

滋賀県公式ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

目的:滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法:郵送アンケート

回答受付方法:しがネット受付サービス、郵便、FAX、e-mail

	しがネット	FAX	郵送	Eメール	合計
回答数	324	37	10	5	376
(割合)	86.2%	9.8%	2.7%	1.3%	100.0%

調査対象企業数:滋賀県内の事業所(750社)

回答受付期間:令和4年10月27日～11月11日

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

回答企業数:376社(回答率50.1%)

※大企業26社、中小企業350社(うち小規模事業者119社)

(参考) 規模・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	12	1	0	5	8	26
中小企業・ 小規模事業者	120	69	30	38	93	350
合計	132	70	30	43	101	376
(業種別比率)	35.1%	18.6%	8.0%	11.4%	26.9%	100.0%

(参考) 地域・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	10	8	8	5	19	50
南部地域	30	14	4	9	20	77
甲賀地域	19	11	4	9	11	54
東近江地域	26	12	6	5	8	57
湖東地域	19	5	4	4	17	49
湖北地域	12	11	3	6	15	47
高島地域	16	9	1	5	11	42
合計	132	70	30	43	101	376

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 【結果の概要(業況DI)】

- **【全体】** 今期は▲8.5と、前期と比べて4.5ポイント改善した。  
来期は▲11.2と、マイナス幅が拡大する見通しである。
- **【規模別】** 大企業では▲11.5とマイナス幅が拡大し、中小企業(小規模事業者を含む)では▲8.3とマイナス幅が縮小した。  
来期は、大企業が▲3.8とマイナス幅が縮小し、中小企業は▲11.7とマイナス幅が拡大する見通しである。
- **【業種別】** 前期と比べて、サービス業・製造業・建設業で改善し、卸売業・小売業で悪化した。  
来期は、卸売業と小売業はマイナス幅が縮小する一方、サービス業はプラス幅が縮小し、製造業と建設業はマイナス幅が拡大し、業種によって見通しに違いがみられる。

※本調査でのDI(デフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期:令和4年10~12月期、来期:令和5年1~3月期

※業況、生産、売上、経常利益、雇用の水準は昨年同時期と比較した回答、在庫数量、資金繰り、引合いは今期と来期の状況についての回答である。

1. 調査概要

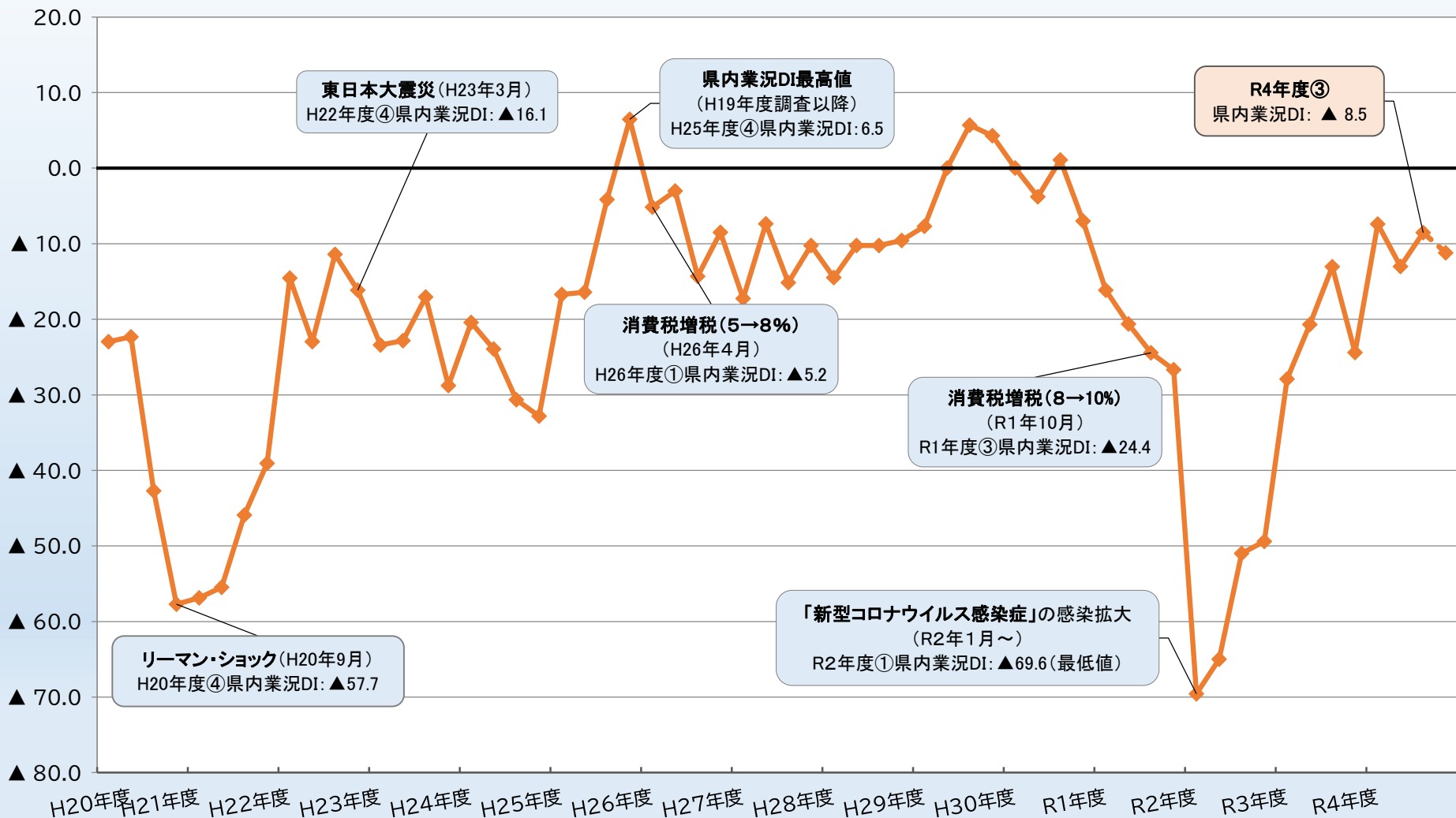
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 業況DIの推移(平成20年度 第1四半期～令和4年度 第3四半期)



## 1. 調査概要

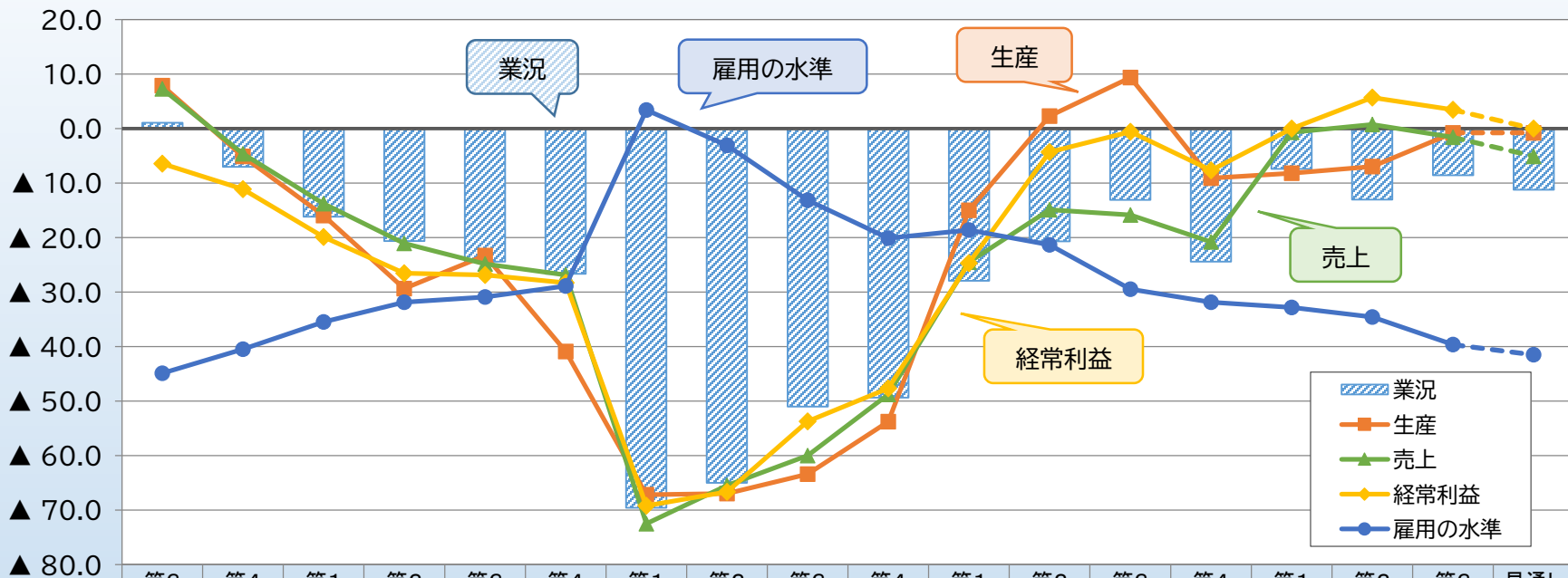
## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 各種DIの推移 (平成30年度 第3四半期～令和4年度 第3四半期)



	第3 H30年度		第1 R1(2019)年度				第1 R2(2020)年度				第1 R3(2021)年度				第1 R4(2022)年度			
業況	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 11.2
生産	7.9	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 0.8
売上	7.3	▲ 4.6	▲ 13.8	▲ 21.1	▲ 24.8	▲ 26.8	▲ 72.5	▲ 65.5	▲ 60.0	▲ 48.8	▲ 24.5	▲ 14.9	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 0.7	0.8	▲ 1.6	▲ 5.1
経常利益	▲ 6.4	▲ 11.1	▲ 19.9	▲ 26.5	▲ 26.8	▲ 28.3	▲ 69.2	▲ 66.7	▲ 53.7	▲ 47.7	▲ 24.7	▲ 4.3	▲ 0.6	▲ 7.6	0.0	5.7	3.5	0.0
雇用の水準	▲ 44.9	▲ 40.5	▲ 35.5	▲ 31.9	▲ 30.9	▲ 28.9	3.4	▲ 3.1	▲ 13.1	▲ 20.1	▲ 18.6	▲ 21.3	▲ 29.4	▲ 31.8	▲ 32.8	▲ 34.6	▲ 39.6	▲ 41.5

【今期(令和4年10～12月期)の景況】※前年同時期との比較

業況・生産の各DIはマイナス幅が縮小、売上DIはマイナスに転じ、経常利益DIはプラス幅が縮小した。  
雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まった。

【来期(令和5年1～3月期)の見通し】

業況・売上の各DIはマイナス幅が拡大し、経常利益DIはプラス幅が縮小し、生産DIは同水準の見通し。  
雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

1. 調査概要

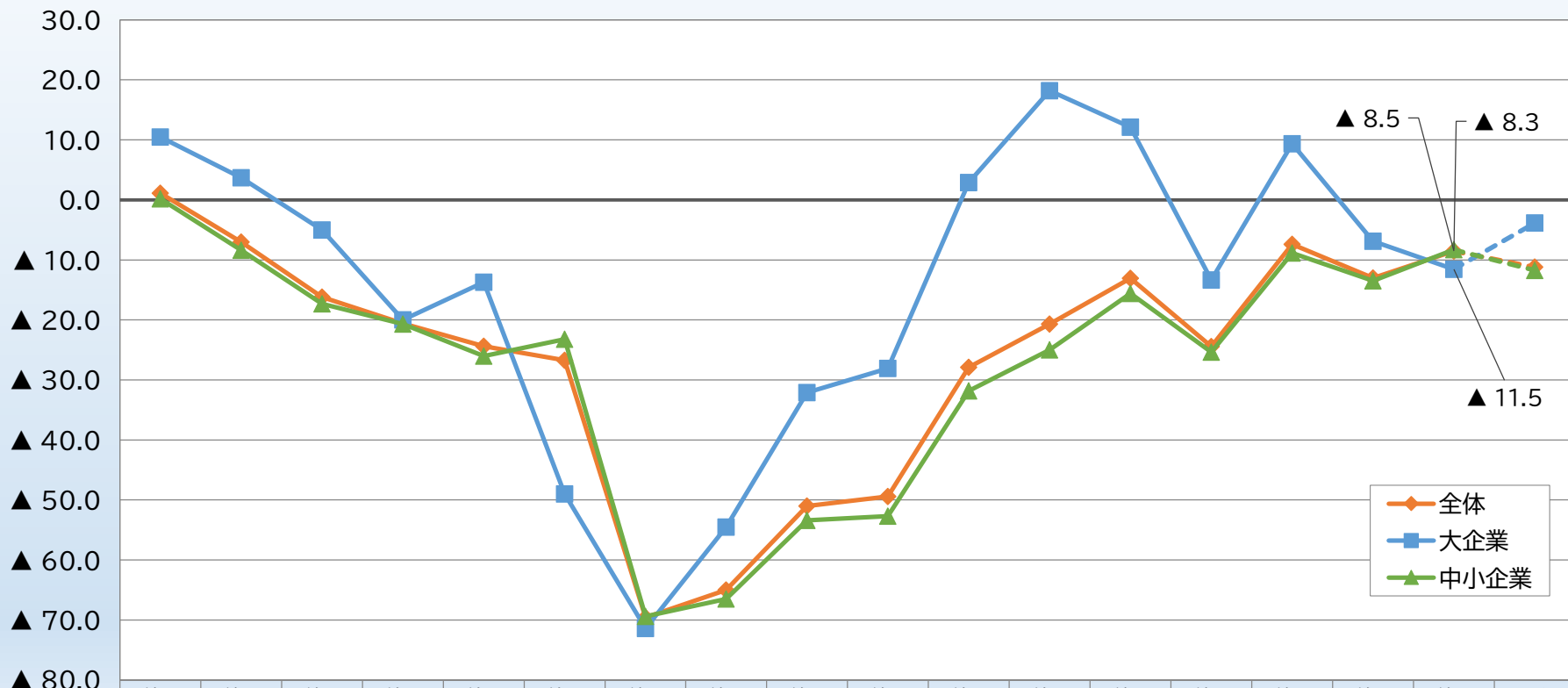
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【企業規模別】業況DIの推移 (平成30年度 第3四半期～令和4年度 第3四半期)



【大企業】	今期:▲11.5とマイナス幅が拡大した。	来期:▲3.8とマイナス幅が縮小する見通し。
【中小企業】	今期:▲8.3とマイナス幅が縮小した。	来期:▲11.7とマイナス幅が拡大する見通し。



## 1. 調査概要

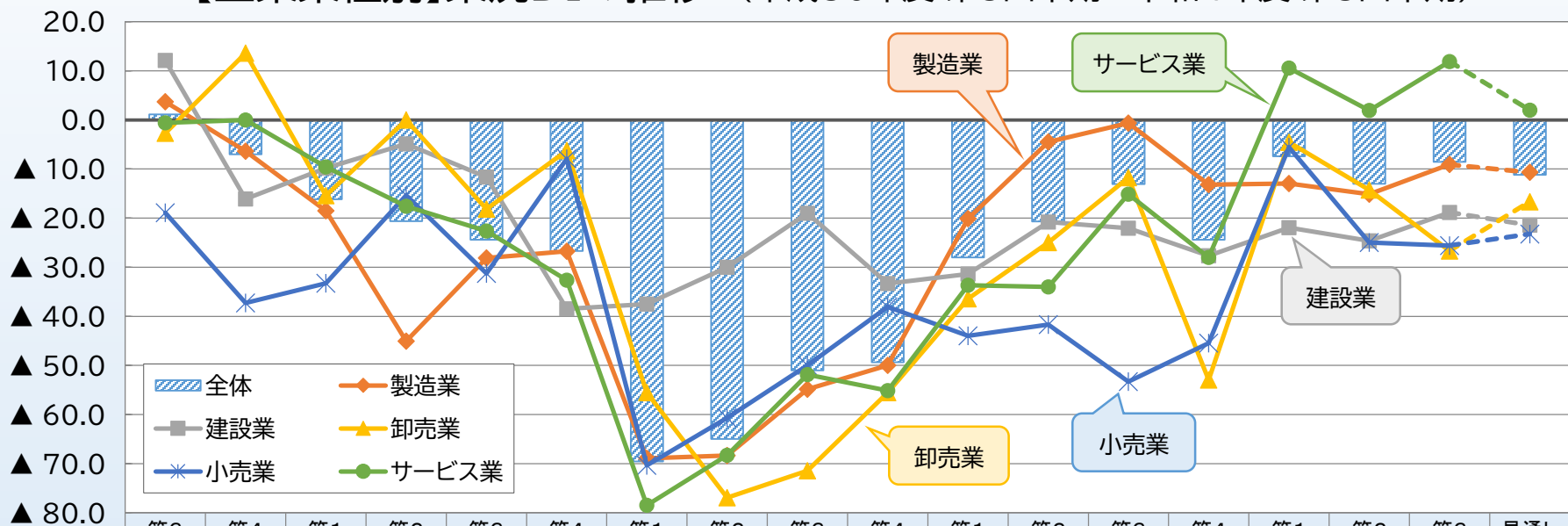
## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 【企業業種別】業況DIの推移 (平成30年度 第3四半期～令和4年度 第3四半期)

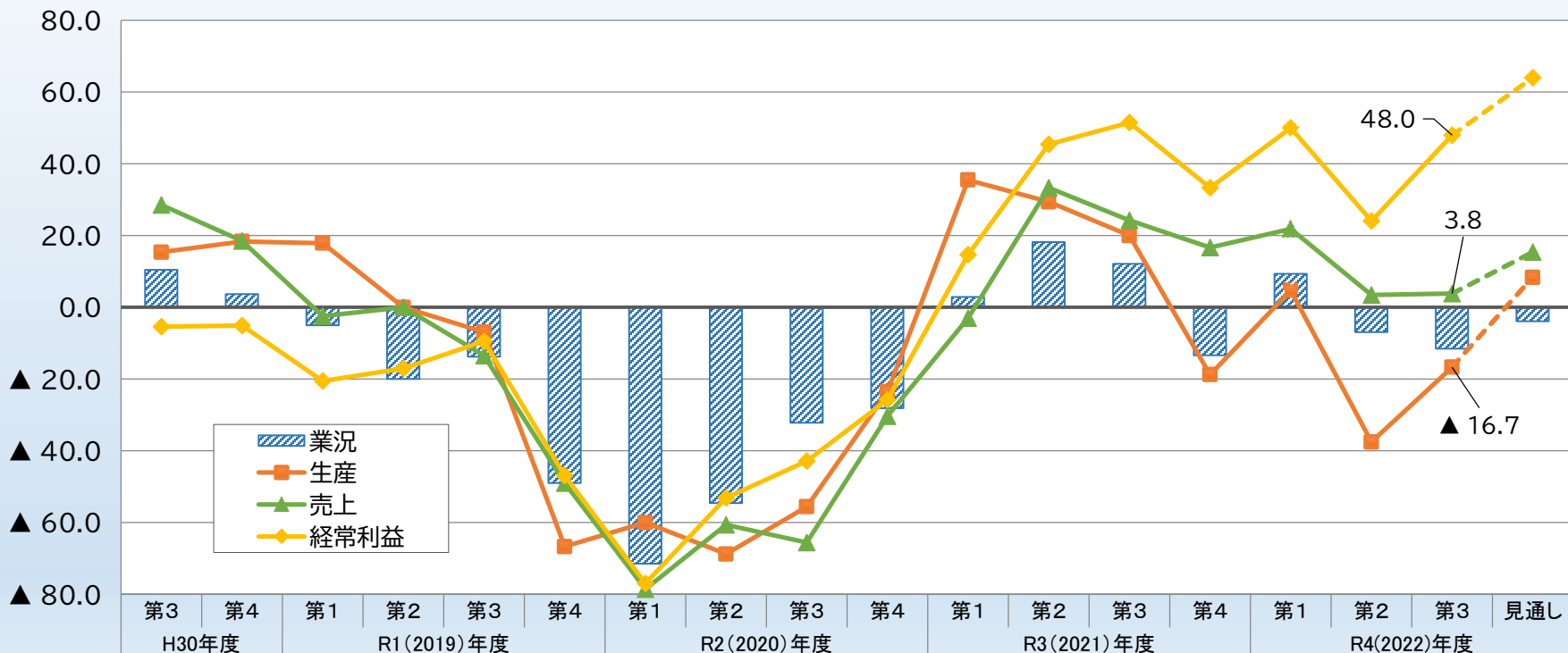


	第3 H30年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
	R1(2019)年度						R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度			
全体	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 28.0	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 11.2
製造業	3.7	▲ 6.4	▲ 18.5	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.1	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 10.7
建設業	12.1	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 21.4
卸売業	▲ 2.7	13.6	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 16.7
小売業	▲ 18.9	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 44.0	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.6	▲ 23.3
サービス業	▲ 0.6	0.0	▲ 9.6	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	11.9	2.0

【製造業】	今期: ▲9.1とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲10.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【建設業】	今期: ▲18.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲21.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【卸売業】	今期: ▲26.7とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲16.7とマイナス幅が縮小する見通し。
【小売業】	今期: ▲25.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲23.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【サービス業】	今期: +11.9とプラス幅が拡大した。	来期: +2.0とプラス幅が縮小する見通し。



## 【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度第3四半期～令和4年度第3四半期)



	第3 H30年度	第4	第1 R1(2019)年度	第2	第3	第4	第1 R2(2020)年度	第2	第3	第4	第1 R3(2021)年度	第2	第3	第4	第1 R4(2022)年度	第2	第3	見通し
業況	10.5	3.7	▲ 5.0	▲ 20.0	▲ 13.7	▲ 49.0	▲ 71.4	▲ 54.5	▲ 32.1	▲ 28.1	2.9	18.2	12.1	▲ 13.3	9.4	▲ 6.9	▲ 11.5	▲ 3.8
生産	15.4	18.4	17.9	0.0	▲ 6.9	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 68.8	▲ 55.6	▲ 23.5	35.5	29.4	20.0	▲ 18.8	4.8	▲ 37.5	▲ 16.7	8.3
売上	28.6	18.5	▲ 2.4	0.0	▲ 13.5	▲ 49.0	▲ 78.6	▲ 60.6	▲ 65.5	▲ 30.3	▲ 3.0	33.3	24.2	16.7	21.9	3.4	3.8	15.4
経常利益	▲ 5.4	▲ 5.1	▲ 20.5	▲ 17.0	▲ 9.4	▲ 46.9	▲ 76.9	▲ 53.1	▲ 42.9	▲ 25.8	14.7	45.5	51.5	33.3	50.0	24.1	48.0	64.0

【業況】	今期: ▲11.5とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲3.8とマイナス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: ▲16.7とマイナス幅が縮小した。	来期: +8.3とプラスに転じる見通し。
【売上】	今期: +3.8とプラス幅が拡大した。	来期: +15.4とプラス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +48.0とプラス幅が拡大した。	来期: +64.0とプラス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    **3. 規模別**    4. 業種別    5. 追加設問

## 【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度第3四半期～令和4年度第3四半期)

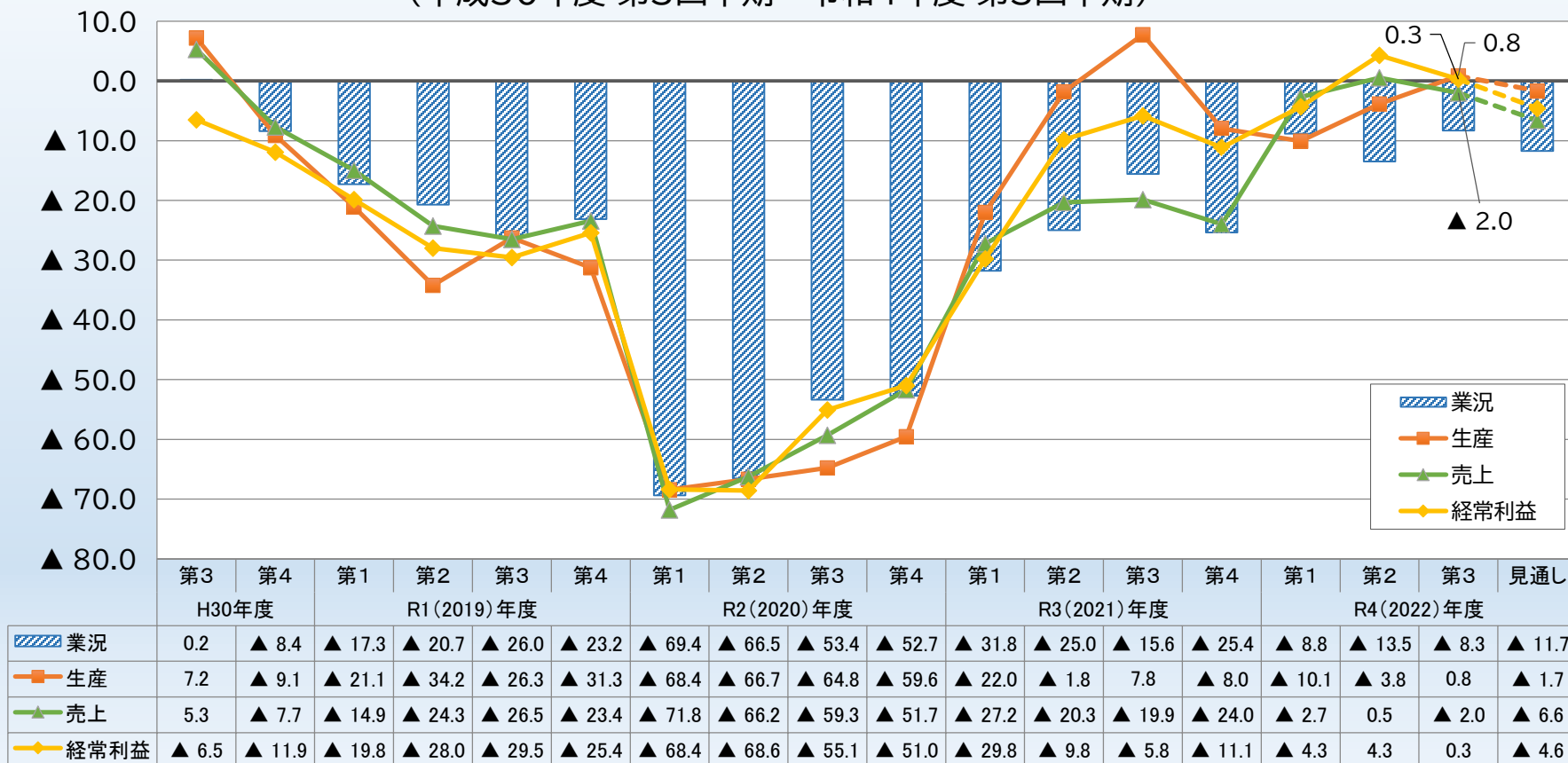


	H30年度		R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度			
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
在庫数量	15.6	14.5	24.1	15.6	16.1	▲7.7	▲4.8	▲30.0	▲23.8	▲33.3	▲13.6	0.0	▲4.2	4.8	0.0	14.3	5.9	▲5.9
資金繰り	2.0	6.1	▲2.9	▲2.4	▲2.1	▲22.9	▲34.8	▲17.9	3.8	▲10.3	▲3.3	7.1	▲13.8	▲3.6	▲3.1	▲3.4	▲4.2	8.3
引合い	10.7	18.1	▲5.1	9.1	▲7.7	▲30.6	▲66.7	▲40.0	▲37.0	▲18.8	▲15.2	▲13.3	0.0	▲3.8	▲6.5	▲10.7	▲8.0	▲16.0

【在庫数量】	今期: +5.9とプラス幅が縮小した。	来期: ▲5.9とマイナスに転じる見通し。
【資金繰り】	今期: ▲4.2とマイナス幅が拡大した。	来期: +8.3とプラスに転じる見通し。
【引合い】	今期: ▲8.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.0とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    **3. 規模別**    4. 業種別    5. 追加設問

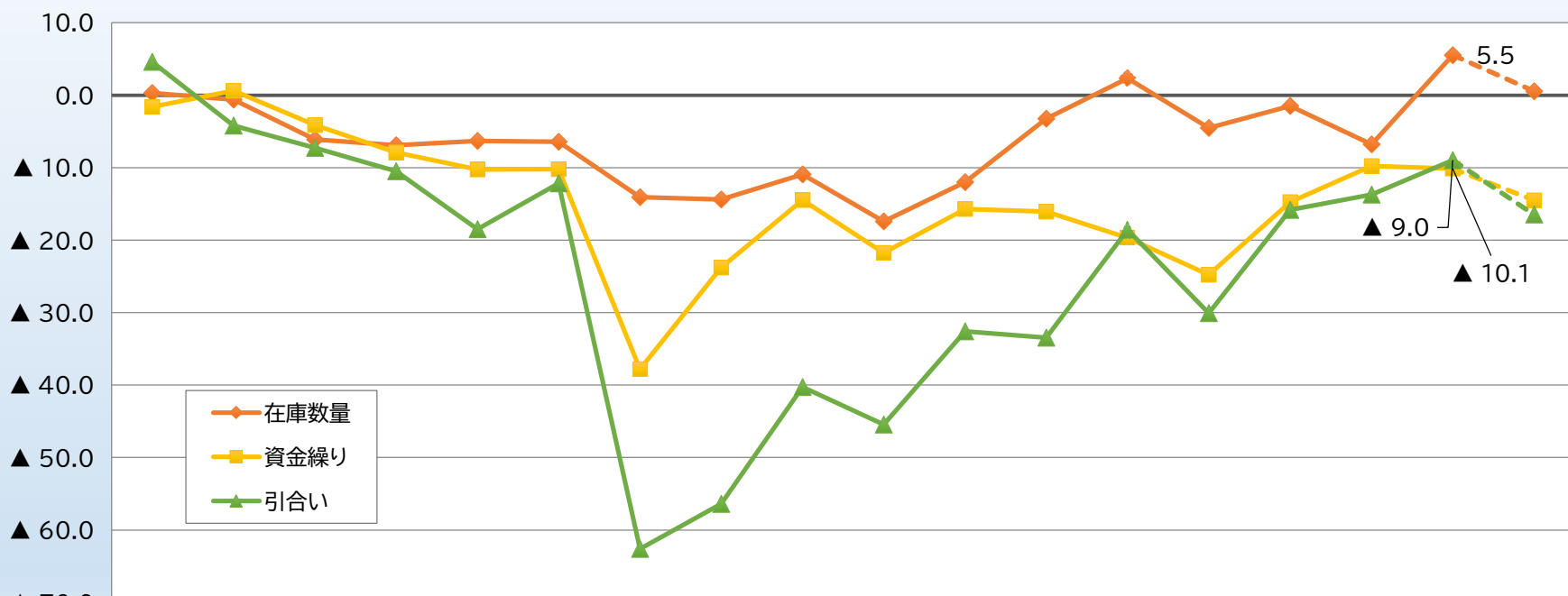
## 【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第3四半期～令和4年度 第3四半期)



【業況】	今期: ▲8.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲11.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: +0.8とプラスに転じた。	来期: ▲1.7とマイナスに転じる見通し。
【売上】	今期: ▲2.0とマイナスに転じた。	来期: ▲6.6とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +0.3とプラス幅が縮小した。	来期: ▲4.6とマイナスに転じる見通し。

1. 調査概要    2. 全体    **3. 規模別**    4. 業種別    5. 追加設問

## 【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第3四半期～令和4年度 第3四半期)

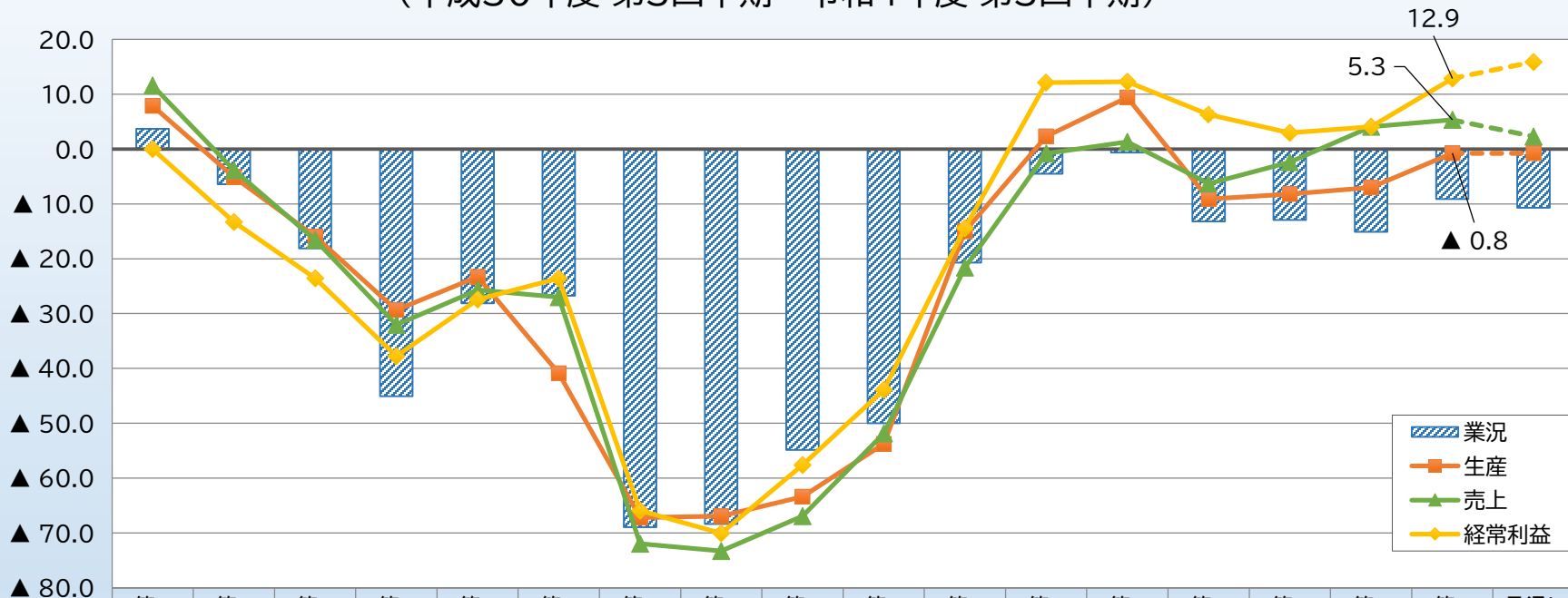


	第3 H30年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
	R1 (2019)年度				R2 (2020)年度				R3 (2021)年度				R4 (2022)年度					
在庫数量	0.3	▲ 0.6	▲ 6.1	▲ 6.9	▲ 6.3	▲ 6.4	▲ 14.1	▲ 14.4	▲ 10.9	▲ 17.4	▲ 12.0	▲ 3.2	2.3	▲ 4.5	▲ 1.5	▲ 6.8	5.5	0.6
資金繰り	▲ 1.6	0.6	▲ 4.1	▲ 7.9	▲ 10.3	▲ 10.2	▲ 37.8	▲ 23.8	▲ 14.5	▲ 21.7	▲ 15.7	▲ 16.1	▲ 19.7	▲ 24.8	▲ 14.7	▲ 9.8	▲ 10.1	▲ 14.5
引合い	4.6	▲ 4.2	▲ 7.3	▲ 10.5	▲ 18.5	▲ 12.2	▲ 62.6	▲ 56.4	▲ 40.3	▲ 45.5	▲ 32.6	▲ 33.5	▲ 18.6	▲ 30.1	▲ 15.8	▲ 13.7	▲ 9.0	▲ 16.5

【在庫数量】	今期: +5.5とプラスに転じた。	来期: +0.6とプラス幅が縮小する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲10.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲14.5とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲9.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.5とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第3四半期～令和4年度 第3四半期)

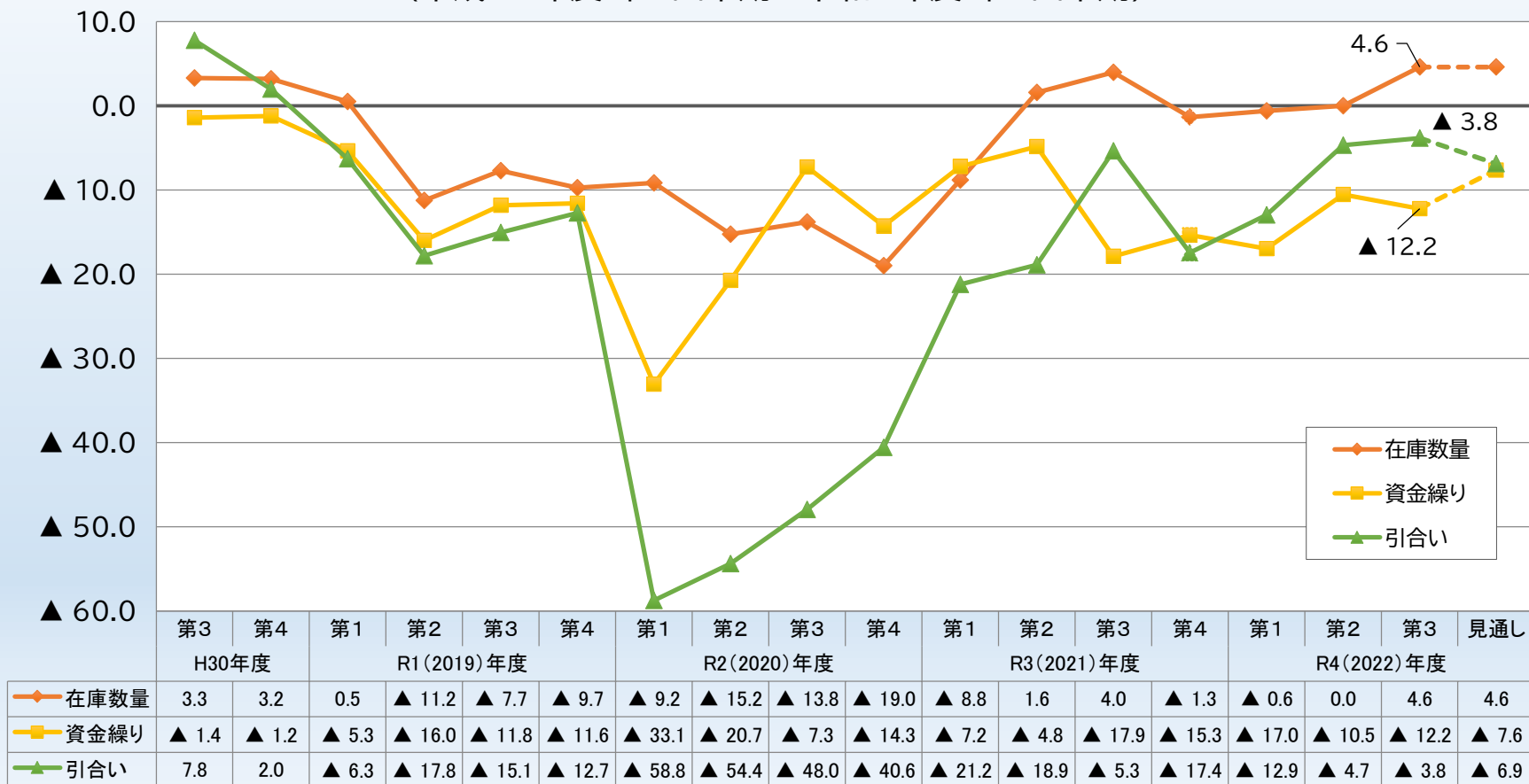


	第3 H30年度	第4	第1 R1(2019)年度	第2	第3	第4	第1 R2(2020)年度	第2	第3	第4	第1 R3(2021)年度	第2	第3	第4	第1 R4(2022)年度	第2	第3	見通し
業況	3.7	▲ 6.4	▲ 18.1	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 10.7
生産	7.9	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 0.8
売上	11.6	▲ 3.8	▲ 16.6	▲ 32.0	▲ 25.7	▲ 27.0	▲ 72.0	▲ 73.3	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.3	▲ 2.4	4.1	5.3	2.3
経常利益	0.0	▲ 13.3	▲ 23.6	▲ 37.8	▲ 27.4	▲ 23.6	▲ 65.9	▲ 70.1	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	12.3	6.3	2.9	4.1	12.9	15.9

【業況】	今期: ▲9.1とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲10.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: ▲0.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲0.8と同水準の見通し。
【売上】	今期: +5.3とプラス幅が拡大した。	来期: +2.3とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +12.9とプラス幅が拡大した。	来期: +15.9とプラス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

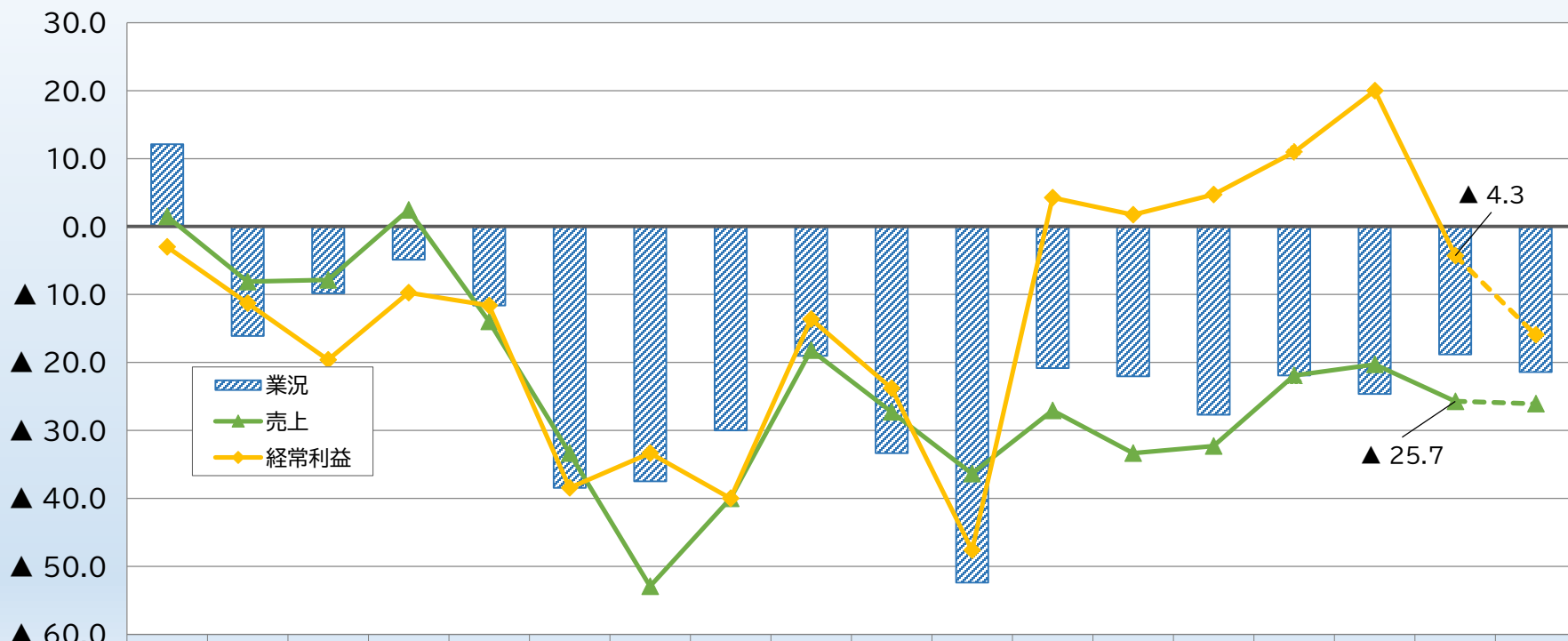
## 【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度第3四半期～令和4年度第3四半期)



【在庫数量】	今期: +4.6とプラス幅が拡大した。	来期: +4.6と同水準の見通し。
【資金繰り】	今期: ▲12.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲7.6とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲3.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲6.9とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度第3四半期～令和4年度第3四半期)



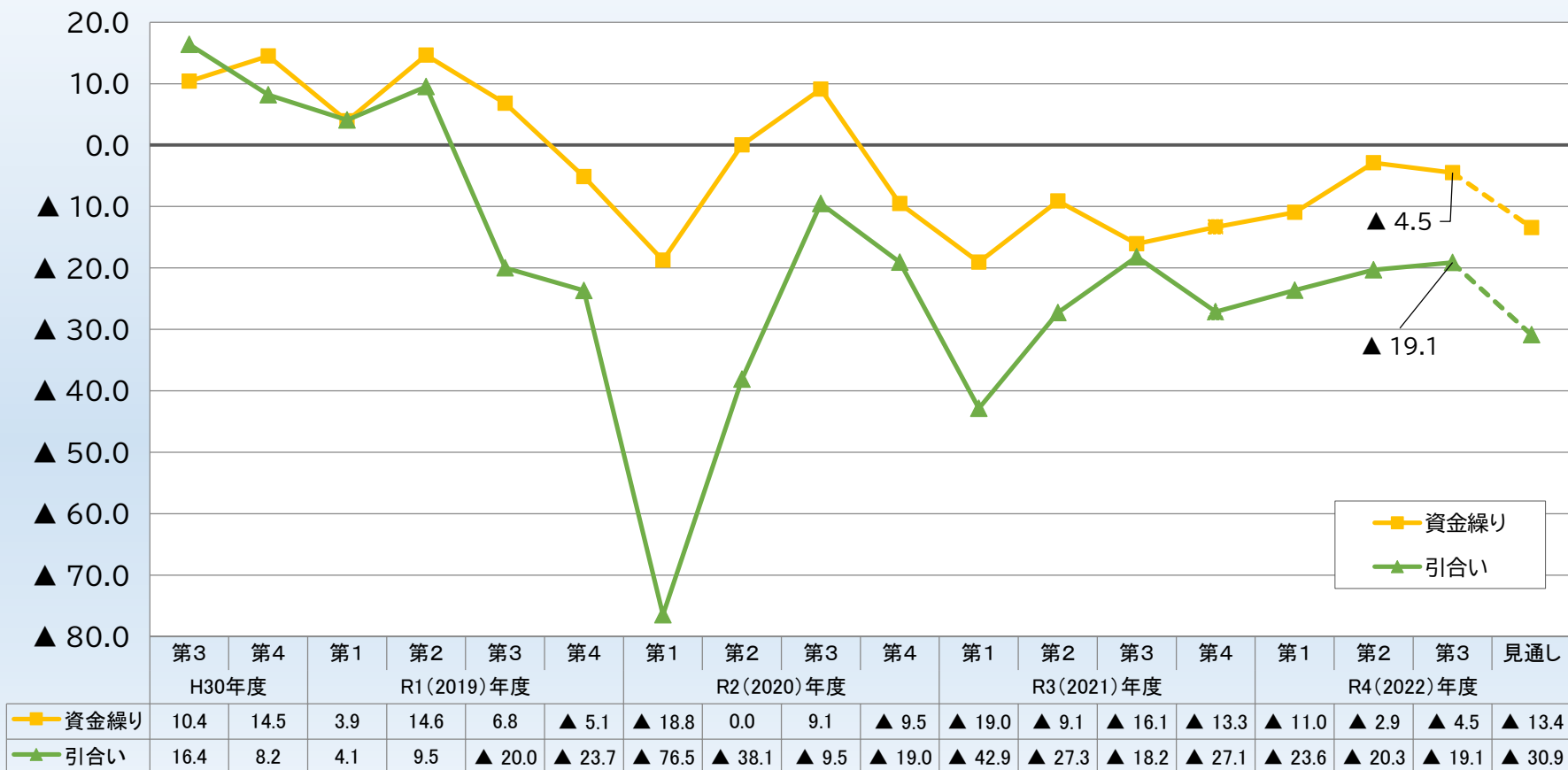
	第3 H30年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
	R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度					
業況	12.1	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 52.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 21.4
売上	1.5	▲ 8.1	▲ 7.8	2.4	▲ 14.0	▲ 33.3	▲ 52.9	▲ 40.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.1	▲ 33.3	▲ 32.3	▲ 21.9	▲ 20.3	▲ 25.7	▲ 26.1
経常利益	▲ 3.0	▲ 11.3	▲ 19.6	▲ 9.8	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 13.6	▲ 23.8	▲ 47.6	4.3	1.7	4.7	11.0	20.0	▲ 4.3	▲ 15.9

【業況】	今期: ▲18.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲21.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: ▲25.7とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲26.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: ▲4.3とマイナスに転じた。	来期: ▲15.9とマイナス幅が拡大する見通し。



1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

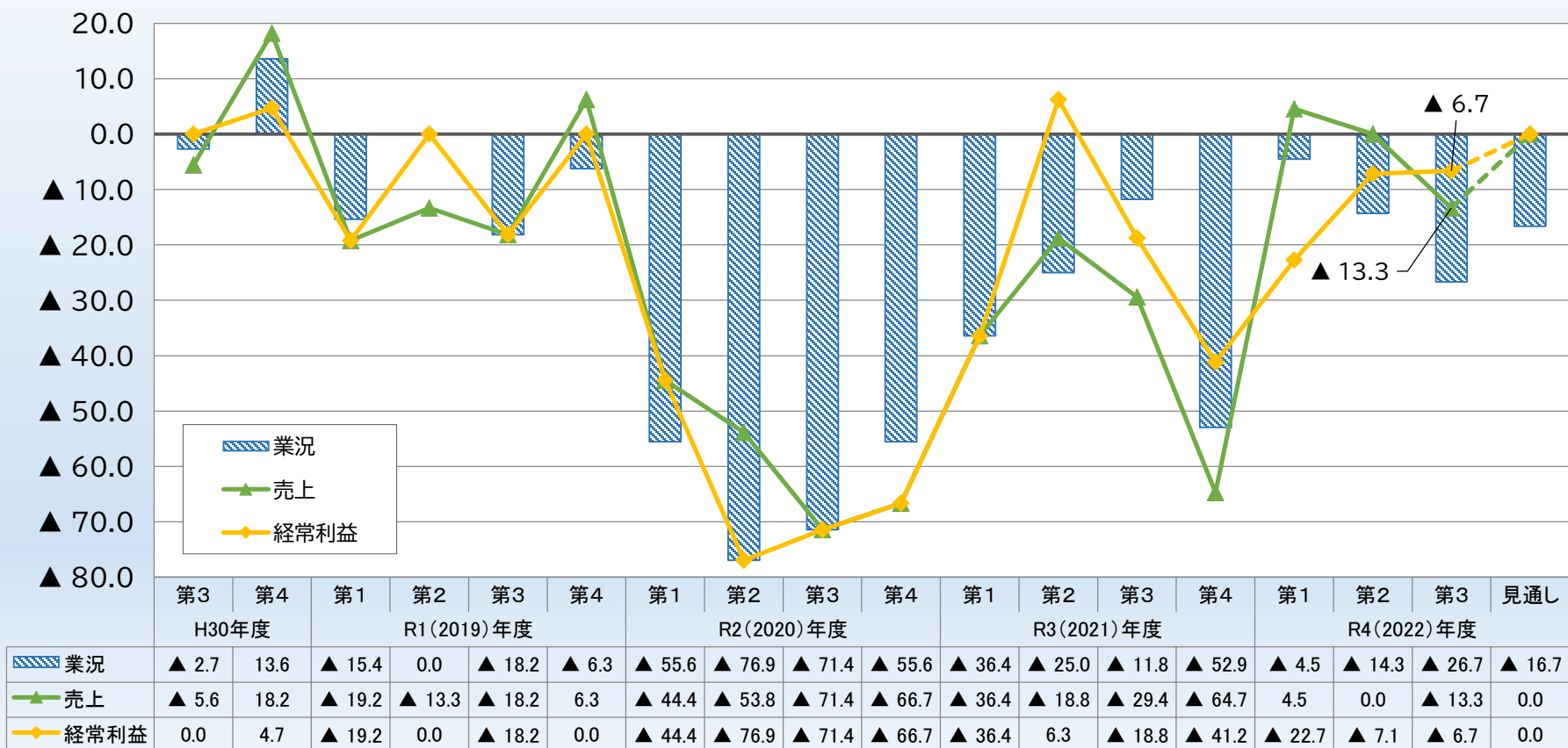
## 【建設業】②「資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度第3四半期～令和4年度第3四半期)



【資金繰り】	今期:▲4.5とマイナス幅が拡大した。	来期:▲13.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期:▲19.1とマイナス幅が縮小した。	来期:▲30.9とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

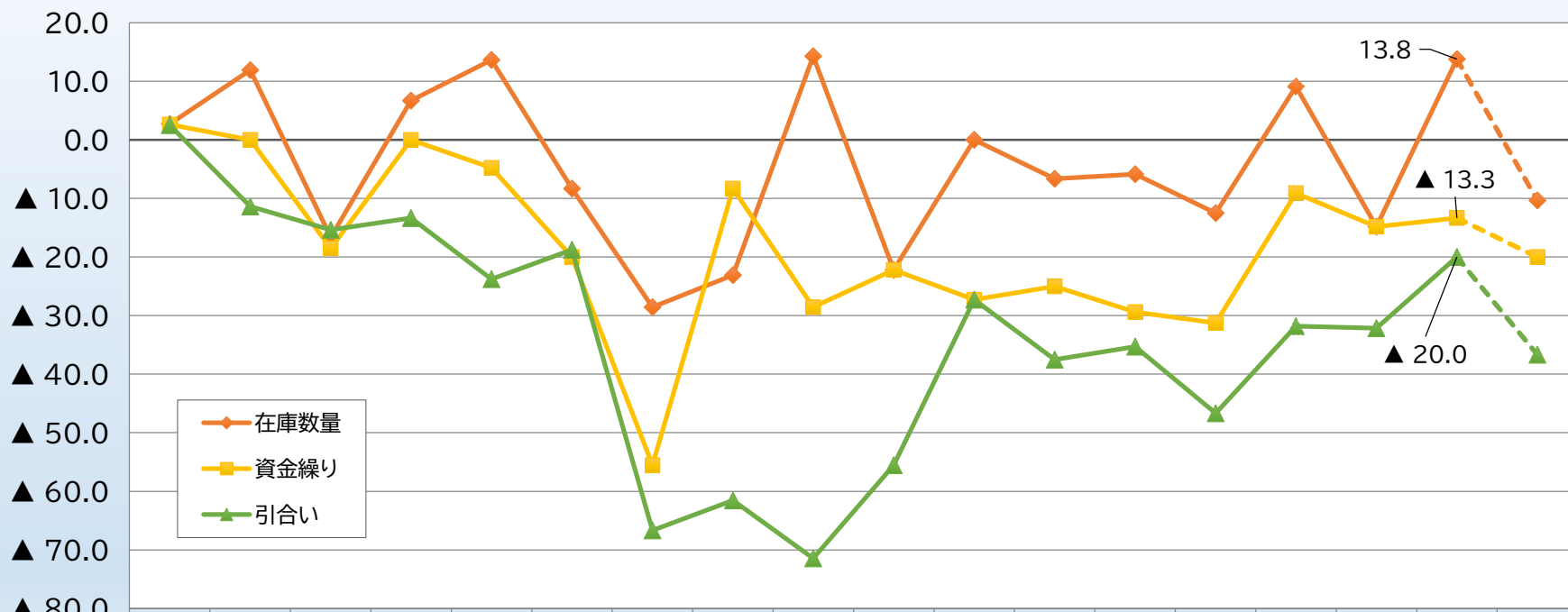
【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向  
(平成30年度 第3四半期～令和4年度 第3四半期)



【業況】	今期:▲26.7とマイナス幅が拡大した。	来期:▲16.7とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期:▲13.3とマイナス幅が拡大した。	来期:0.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期:▲6.7とマイナス幅が縮小した。	来期:0.0とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第3四半期～令和4年度 第3四半期)

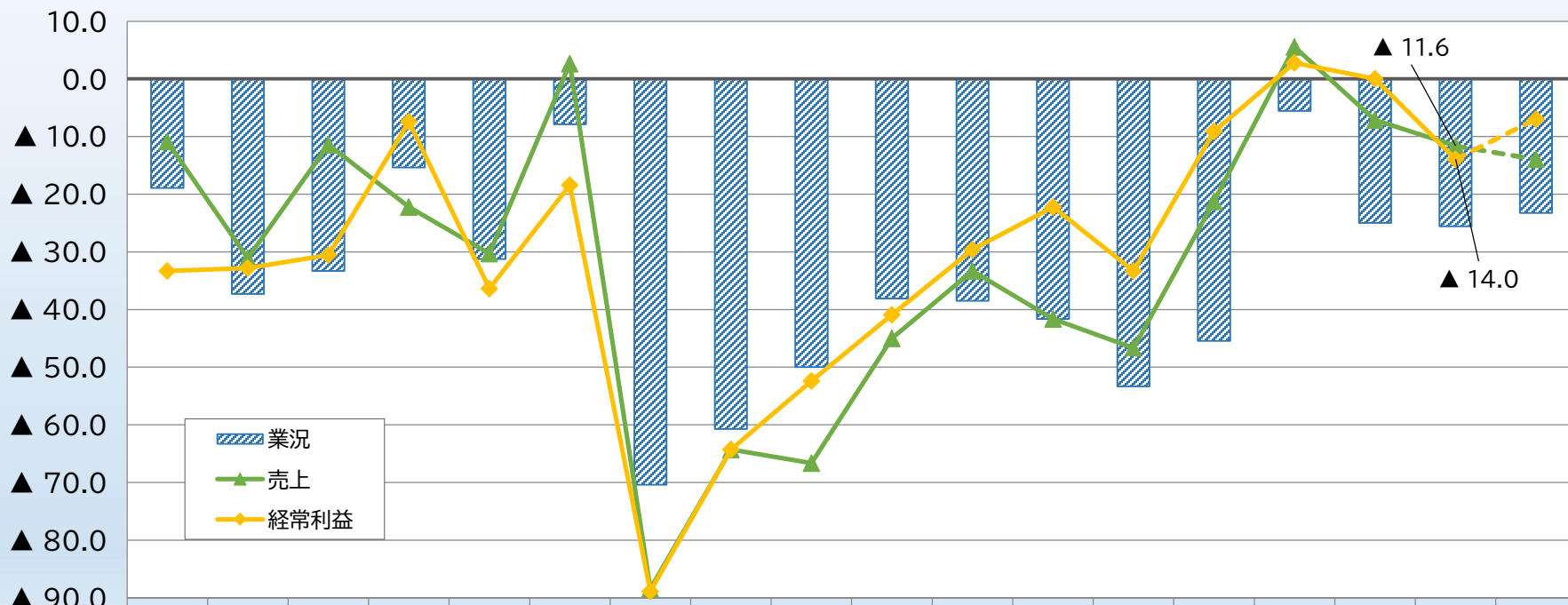


	第3 H30年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
	R1(2019)年度						R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度			
在庫数量	2.7	11.9	▲ 16.7	6.7	13.6	▲ 8.3	▲ 28.6	▲ 23.1	14.3	▲ 22.2	0.0	▲ 6.7	▲ 5.9	▲ 12.5	9.1	▲ 14.8	13.8	▲ 10.3
資金繰り	2.6	0.0	▲ 18.5	0.0	▲ 4.8	▲ 20.0	▲ 55.6	▲ 8.3	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 29.4	▲ 31.3	▲ 9.1	▲ 14.8	▲ 13.3	▲ 20.0
引合い	2.5	▲ 11.4	▲ 15.4	▲ 13.3	▲ 23.8	▲ 18.8	▲ 66.7	▲ 61.5	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 27.3	▲ 37.5	▲ 35.3	▲ 46.7	▲ 31.8	▲ 32.1	▲ 20.0	▲ 36.7

【在庫数量】	今期: +13.8とプラスに転じた。	来期: ▲10.3とマイナスに転じる見通し。
【資金繰り】	今期: ▲13.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲20.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲20.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲36.7とマイナス幅が拡大する見通し。

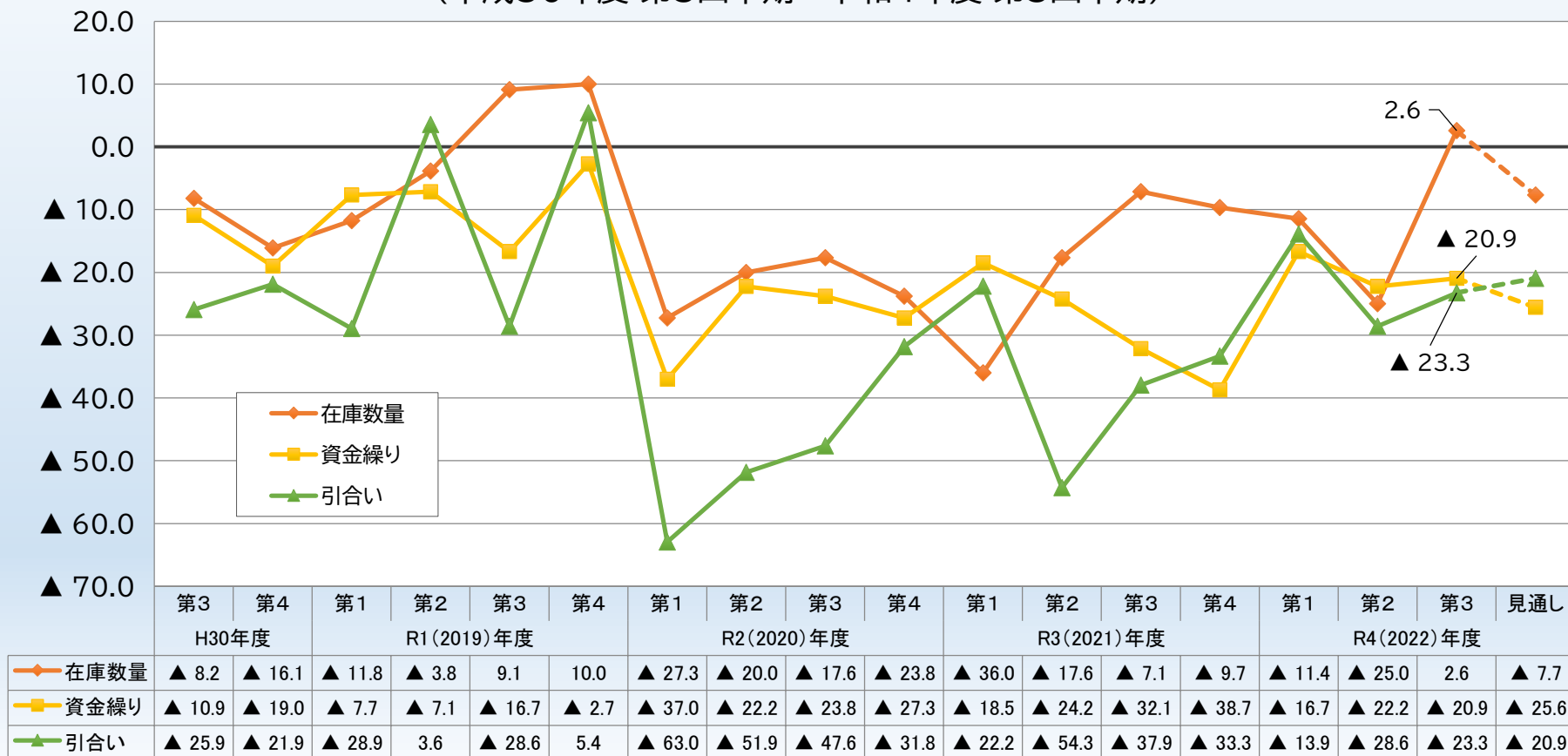
1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第3四半期～令和4年度 第3四半期)



【業況】	今期: ▲25.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲23.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲11.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲14.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: ▲14.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲7.0とマイナス幅が縮小する見通し。

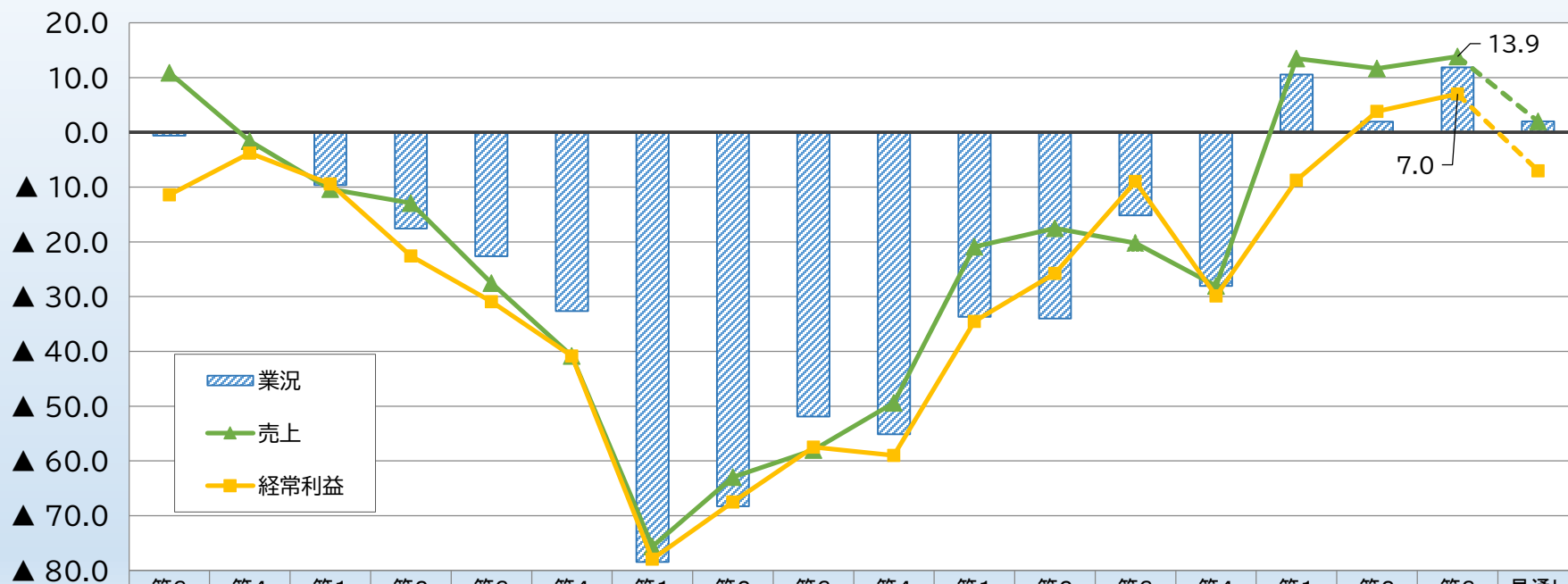
## 【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第3四半期～令和4年度 第3四半期)



【在庫数量】	今期: +2.6とプラスに転じた。	来期: ▲7.7とマイナスに転じた。
【資金繰り】	今期: ▲20.9とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲25.6とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲23.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲20.9とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第3四半期～令和4年度 第3四半期)

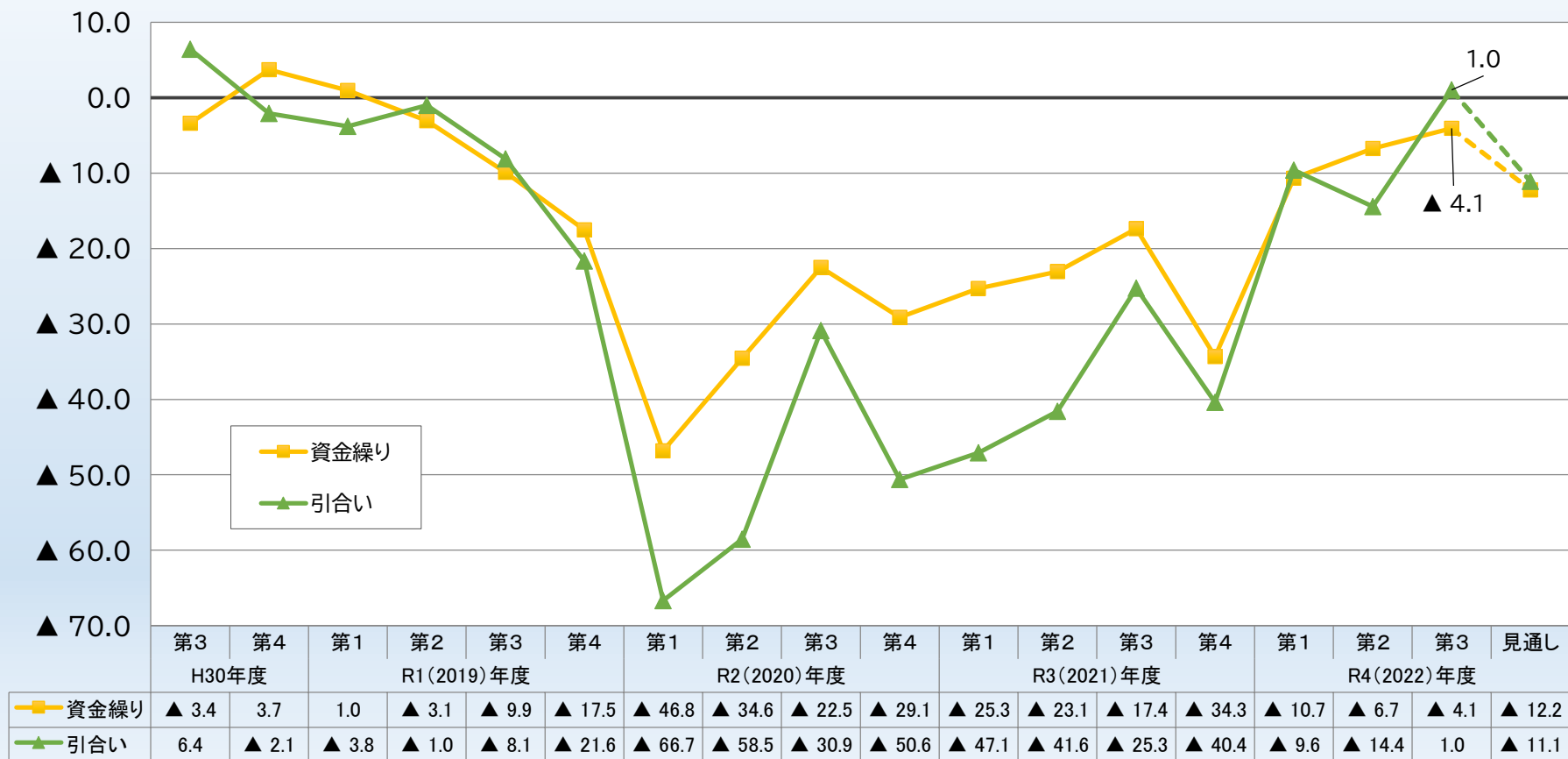


	第3 H30年度		第1 R1 (2019)年度				第2 R2 (2020)年度				第3 R3 (2021)年度				第4 R4 (2022)年度			
業況	▲ 0.6	0.0	▲ 9.6	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	11.9	2.0
売上	10.9	▲ 1.6	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 27.5	▲ 40.8	▲ 75.6	▲ 63.0	▲ 58.0	▲ 49.4	▲ 20.9	▲ 17.5	▲ 20.2	▲ 28.0	13.5	11.7	13.9	2.0
経常利益	▲ 11.4	▲ 3.8	▲ 9.4	▲ 22.6	▲ 30.9	▲ 40.8	▲ 77.9	▲ 67.5	▲ 57.5	▲ 59.0	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 9.0	▲ 29.9	▲ 8.7	3.8	7.0	▲ 7.0

【業況】	今期: +11.9とプラス幅が拡大した。	来期: +2.0とプラス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: +13.9とプラス幅が拡大した。	来期: +2.0とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +7.0とプラス幅が拡大した。	来期: ▲7.0とマイナスに転じる見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【サービス業】②「資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第3四半期～令和4年度 第3四半期)



【資金繰り】	今期: ▲4.1とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲12.2とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: +1.0とプラスに転じた。	来期: ▲11.1とマイナスに転じる見通し。



# 景況調査結果報告書(令和4年度 第3四半期)



1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

業況判断	企業コメント	業種
好転	全国旅行支援により急にお客さまが増えてスタッフが足りない状況。売上は大きく改善。	サービス業
	イベントなどの催事による売上の増額、また飲食店からの器の注文の増加などにより売上の改善がみられる。	製造業
	全国旅行支援の好影響により、売上が急激に増加と同時に人員が不足している。旅行支援が延長されるか否かで今後の見通しも変わる。	サービス業
	旅行クーポンの影響で高需要である。クーポン終了後もコロナの影響がなければ需要は続く見通し。	サービス業
不変	原材料の高騰により収益減少。人員不足であり、残業時間の削減が課題。	建設業
	コロナ禍、ウクライナ情勢により継続的な半導体不足による減産および納期遅延。	小売業
	売上は増加傾向であるが、原材料価格の高騰や円安の影響により業績は横ばいの見通し。	小売業
	コロナ以前の状況に戻る気配感じず。	卸売業
	人材不足による受注調整を余儀なくされている。	建設業
悪化	原油価格の高騰により、売上額は増加するが、採算は悪化。この傾向は来期も続くことが予想される。	小売業
	最低賃金上昇分の契約単価が上昇しないと来期も苦しい。	サービス業
	円安、ウクライナ情勢などにより原料値上げがかさみ商品の値上げがあり、状況は厳しい。	卸売業
	売上が横ばいであるが、人件費と物価の高騰により赤字となる予定。契約金額に高騰分を転嫁出来ない。	建設業
	半導体不足により生産減。	製造業

1. 調査概要

2. 全体

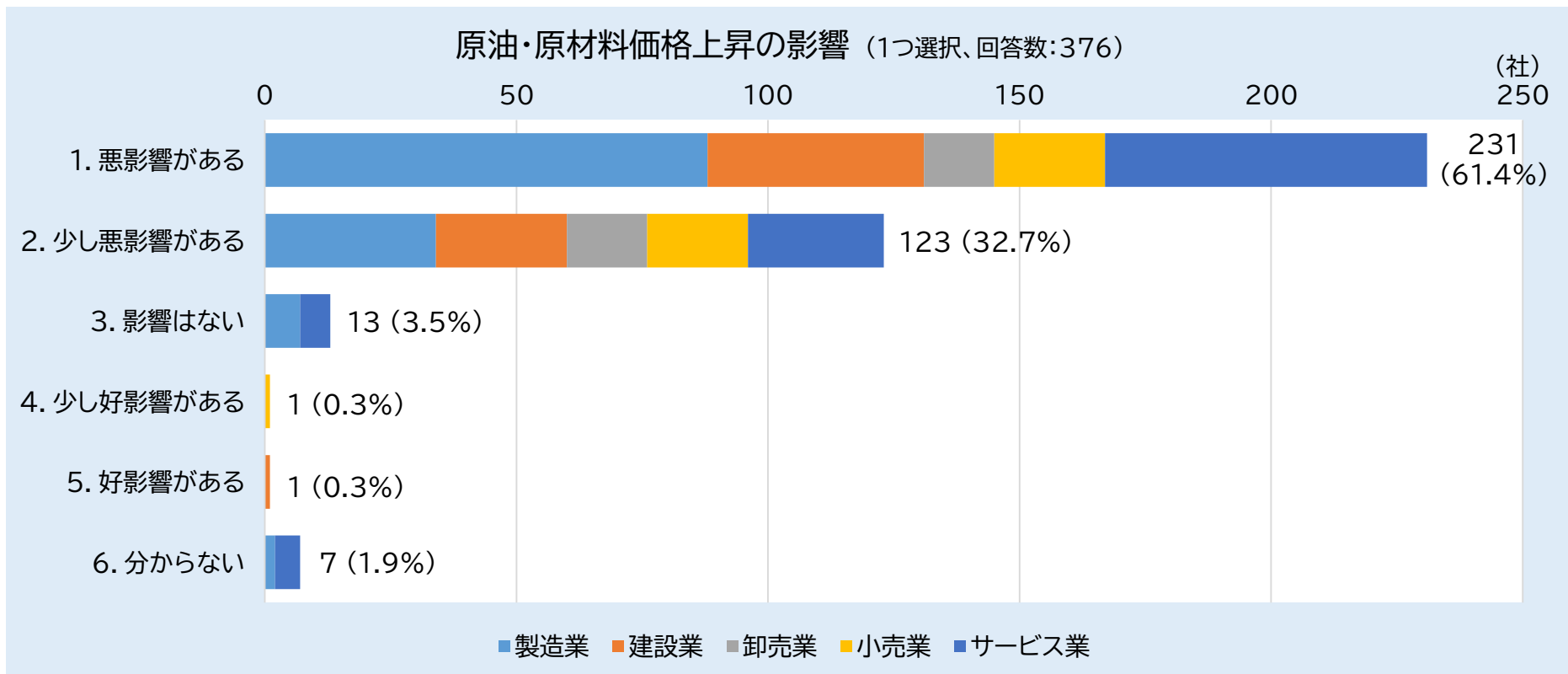
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 原油・原材料価格上昇の影響(全体)

- 原油・原材料価格上昇の影響について尋ねたところ、「悪影響がある」が最も多かった。
- 「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、全体の約94%に上った。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

1. 調査概要

2. 全体

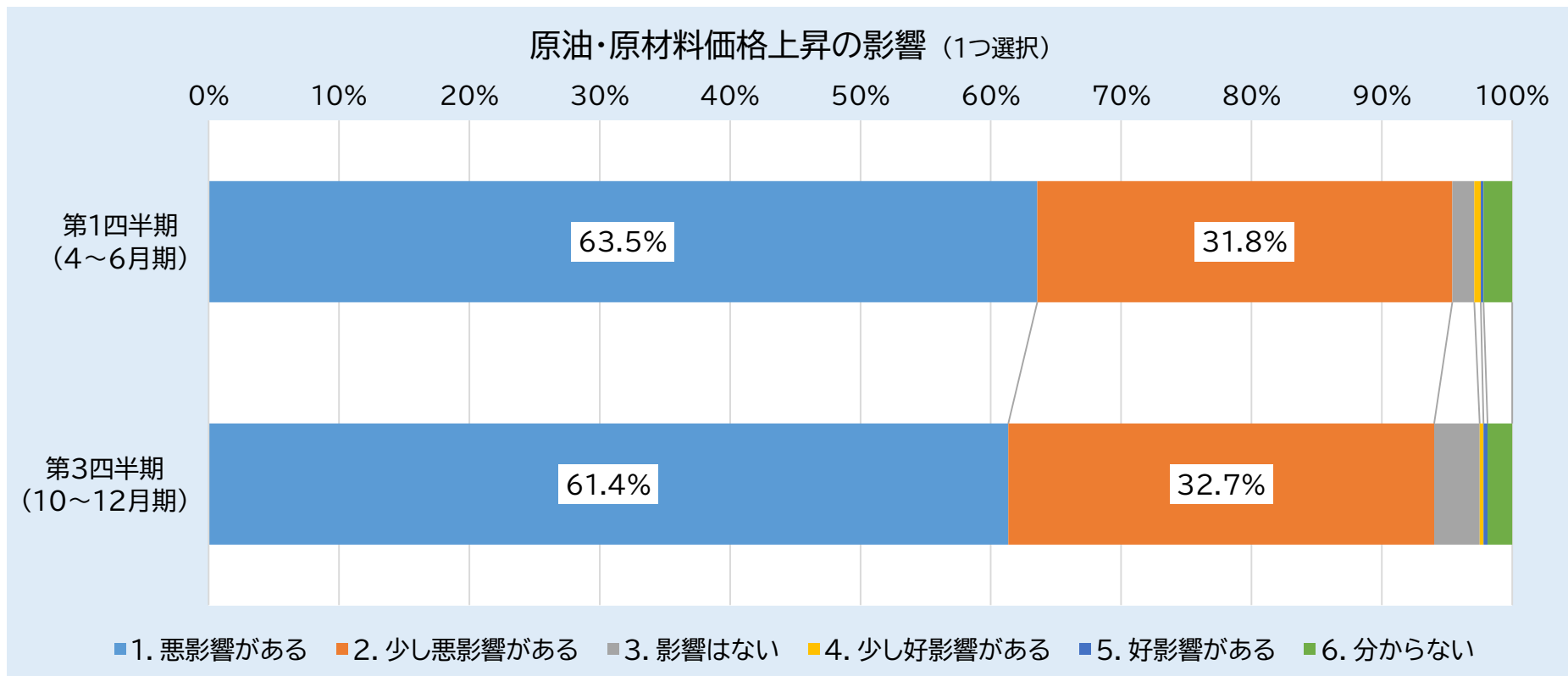
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

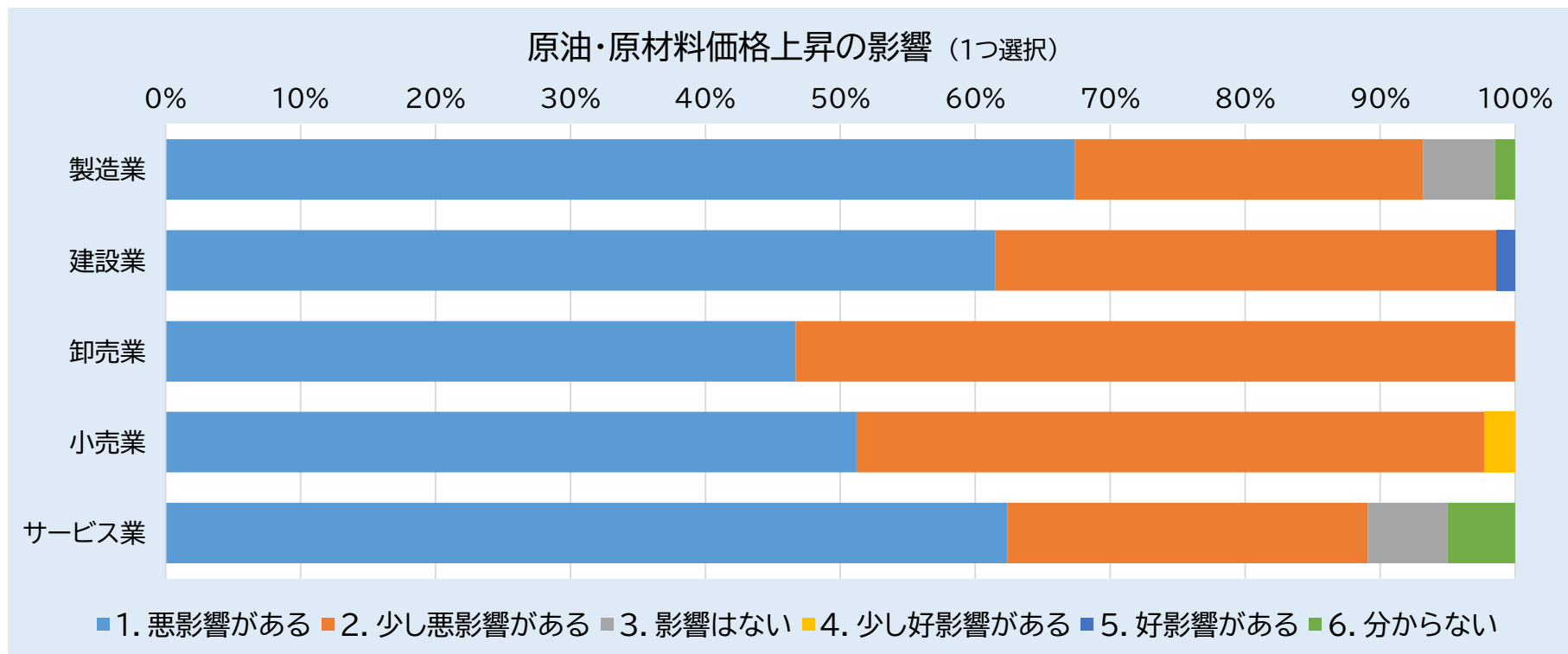
## 原油・原材料価格上昇の影響（第1四半期との比較）

- 原油・原材料価格上昇の影響について、第1四半期と第3四半期を比較したところ、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、いずれも全体の90%以上を占めた。



## 原油・原材料価格上昇の影響（業種別）

- 原油・原材料価格上昇の影響について業種別にみると、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、サービス業では90%近く、その他の業種では90%を超えた。
- 製造業、建設業、サービス業は、「悪影響がある」が60%を超えた。



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

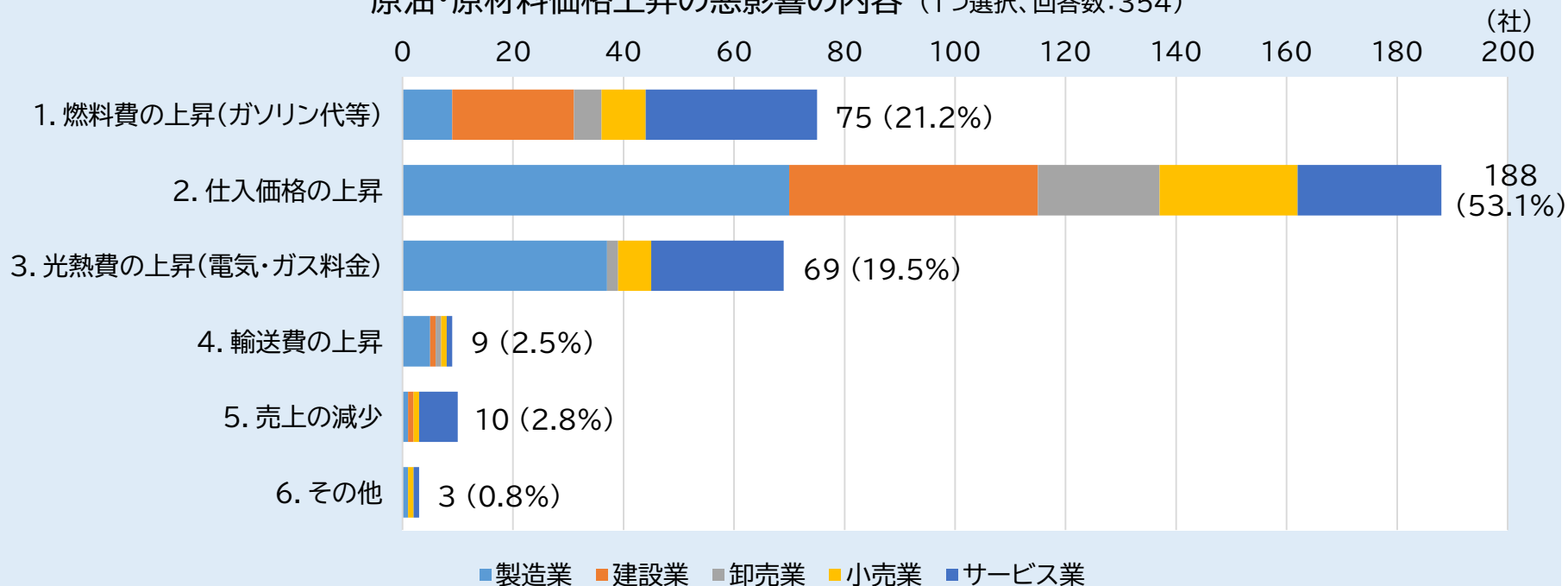
4. 業種別

5. 追加設問

## 原油・原材料価格上昇の悪影響の内容(全体)

- 原油・原材料価格上昇の悪影響の内容を尋ねたところ、「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 次いで「燃料費の上昇」、「光熱費の上昇」の順に多かった。

原油・原材料価格上昇の悪影響の内容 (1つ選択、回答数:354)



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

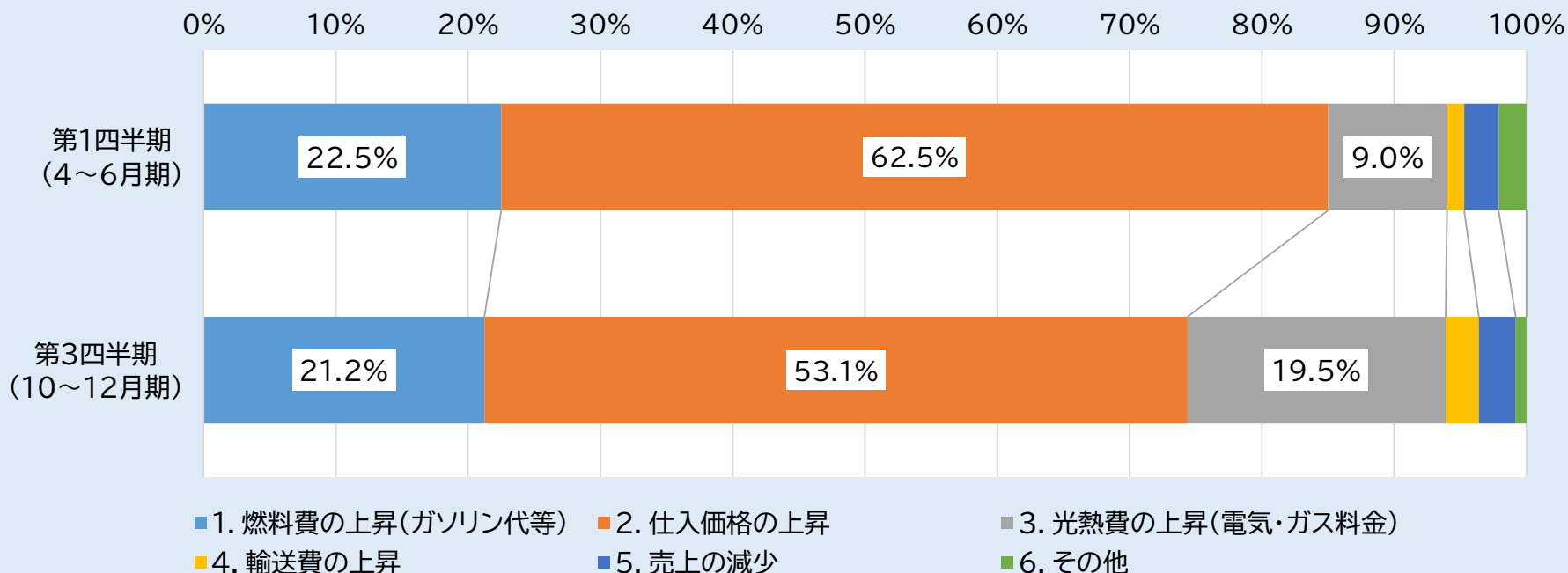
4. 業種別

5. 追加設問

## 原油・原材料価格上昇の悪影響の内容(第1四半期との比較)

- 原油・原材料価格上昇の悪影響の内容について、第1四半期と第3四半期を比較したところ、「光熱費の上昇」の割合が増加した。

原油・原材料価格上昇の悪影響の内容 (1つ選択)



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

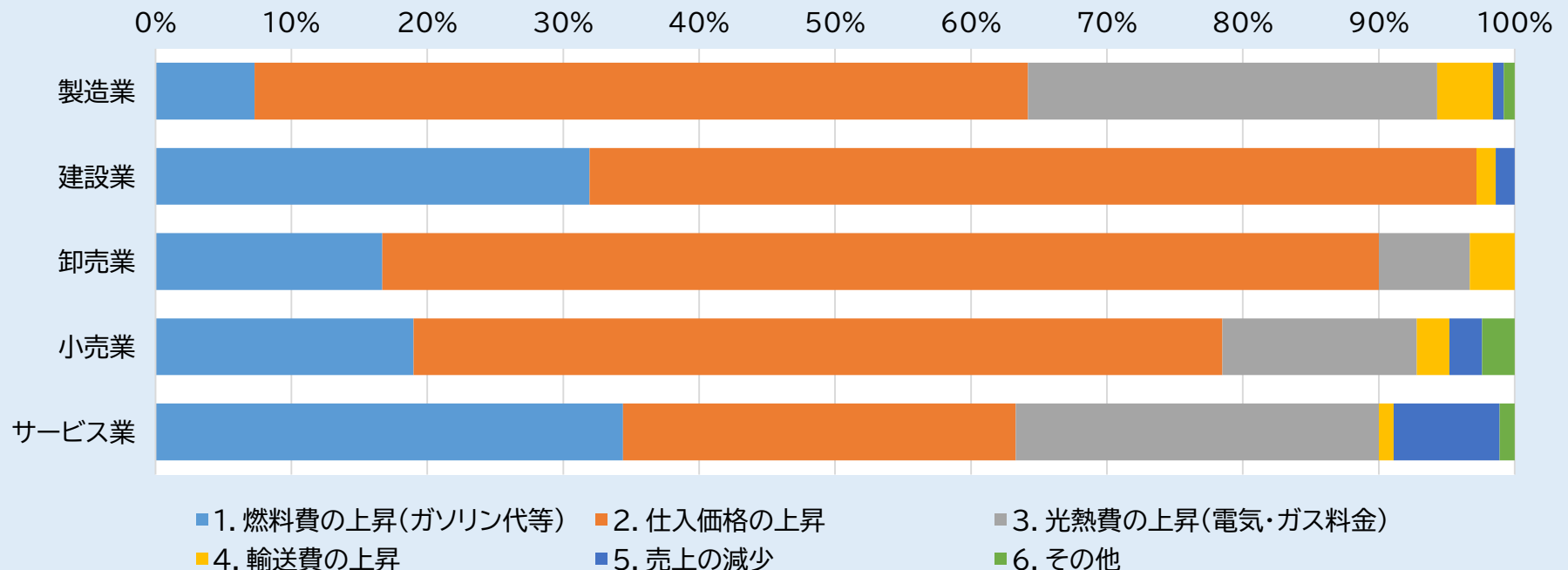
4. 業種別

5. 追加設問

## 原油・原材料価格上昇の悪影響の内容(業種別)

- 原油・原材料価格上昇の悪影響の内容について業種別にみると、サービス業では「燃料費の上昇」が最も多く、その他の業種では「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 製造業とサービス業は、他の業種に比べて「光熱費の上昇」が多かった。

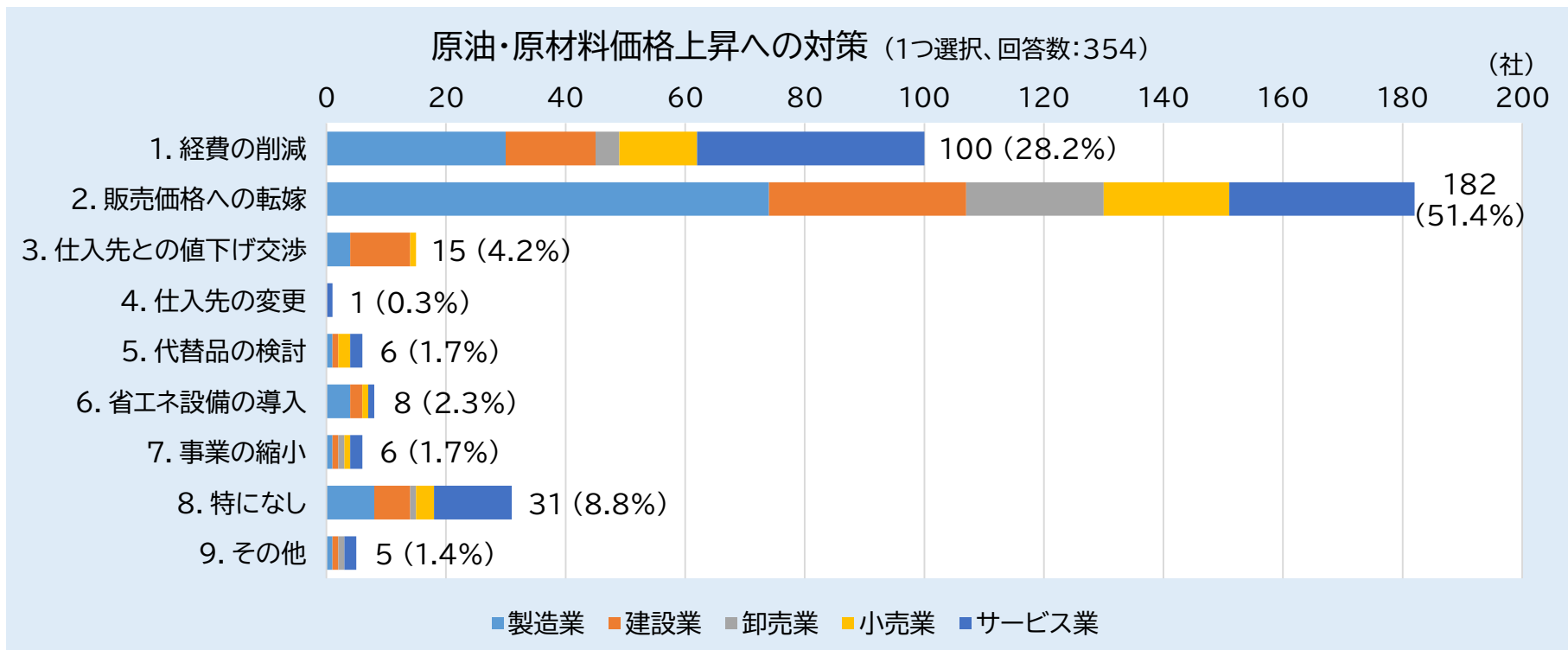
原油・原材料価格上昇の悪影響の内容 (1つ選択)





## 原油・原材料価格上昇への対策(全体)

- 原油・原材料価格上昇への対策を尋ねたところ、「販売価格への転嫁」が最も多かった。
- 次いで「経費の削減」、「特になし」の順に多かった。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

1. 調査概要

2. 全体

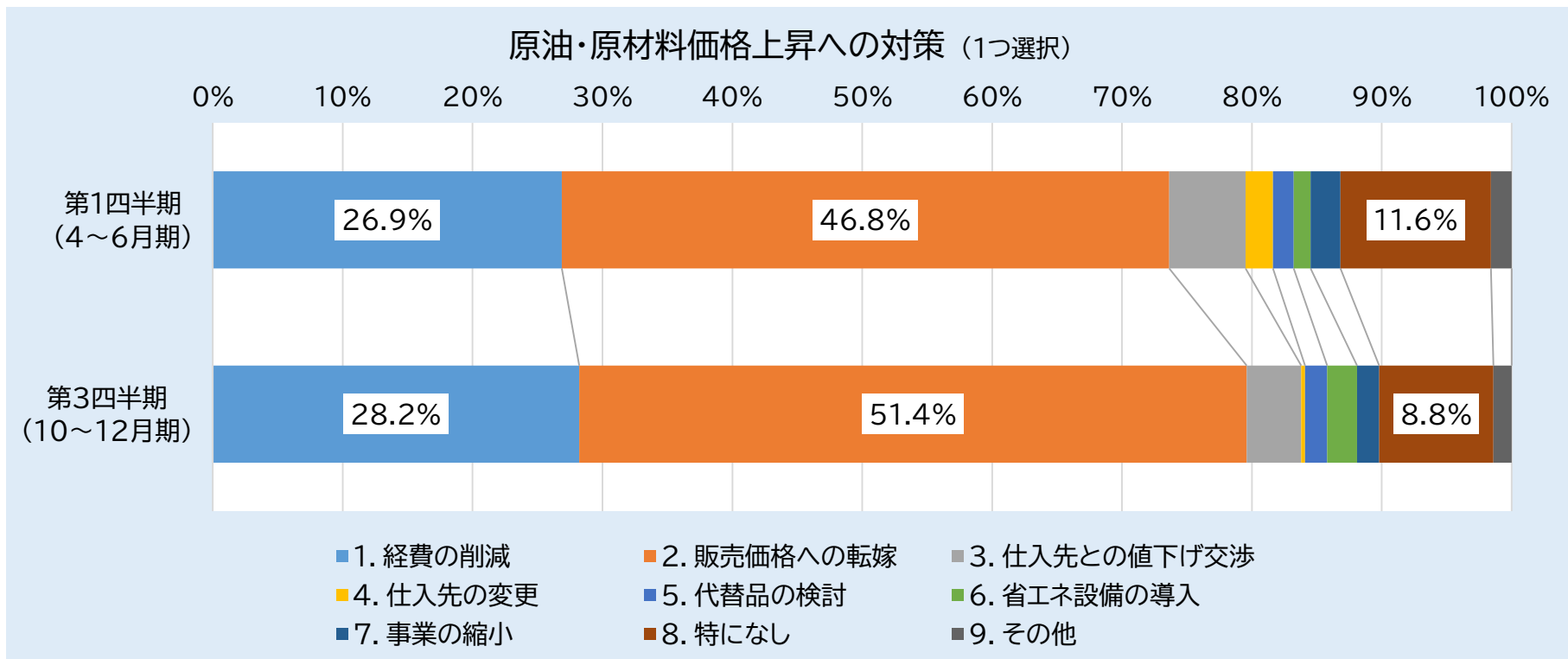
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

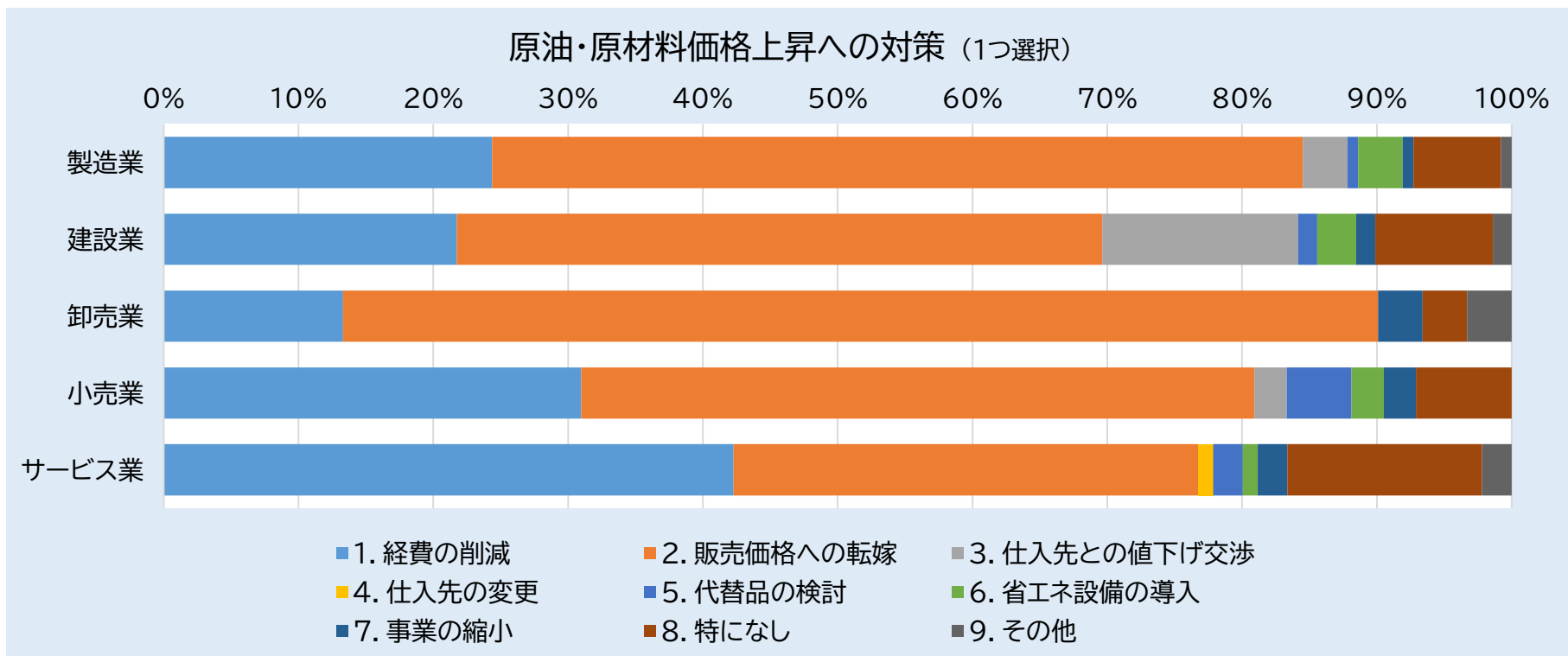
## 原油・原材料価格上昇への対策（第1四半期との比較）

- 原油・原材料価格上昇への対策について、第1四半期と第3四半期を比較したところ、「販売価格への転嫁」や「経費の削減」の割合が増加し、「特になし」の割合が減少した。



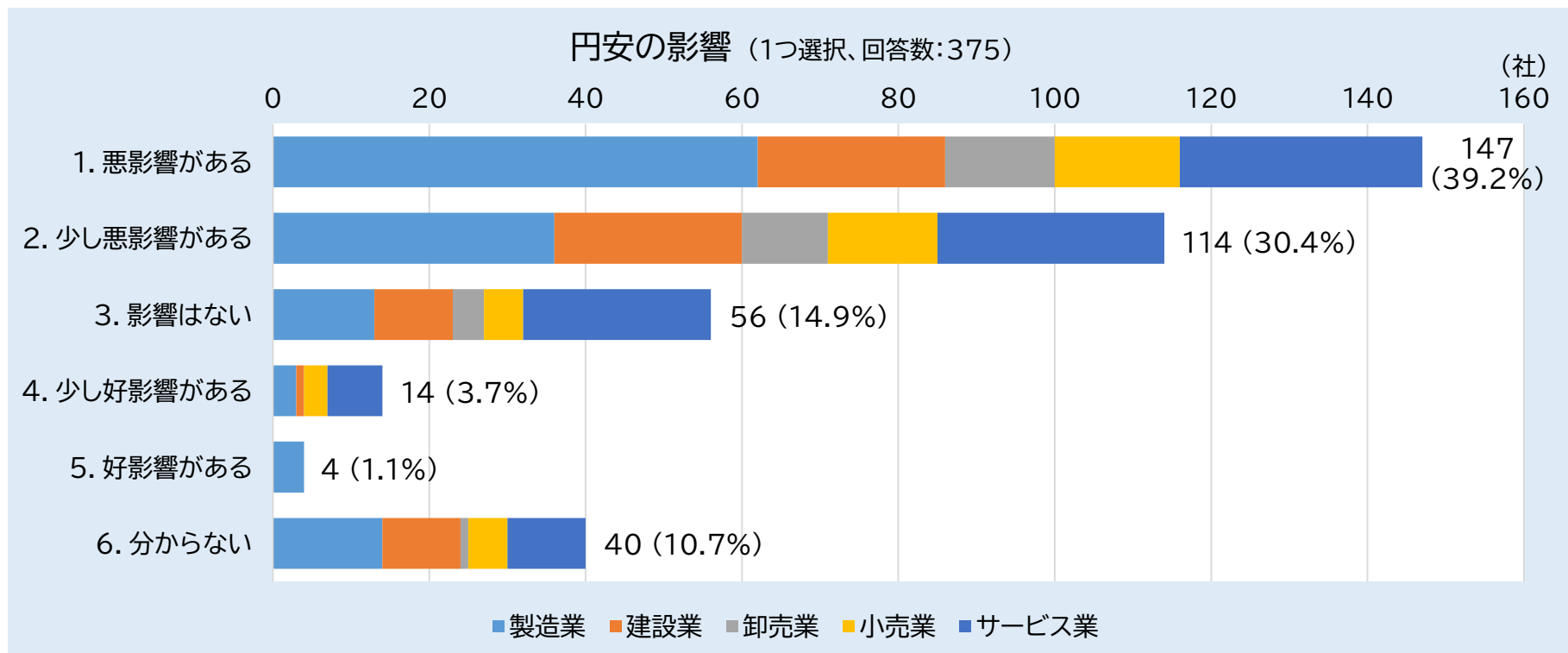
## 原油・原材料価格上昇への対策(業種別)

- 原油・原材料価格上昇への対策について業種別にみると、サービス業では「経費の削減」が最も多く、その他の業種では「販売価格への転嫁」が最も多かった。
- 建設業は、他の業種に比べて「仕入先との値下げ交渉」が多かった。



## 円安の影響(全体)

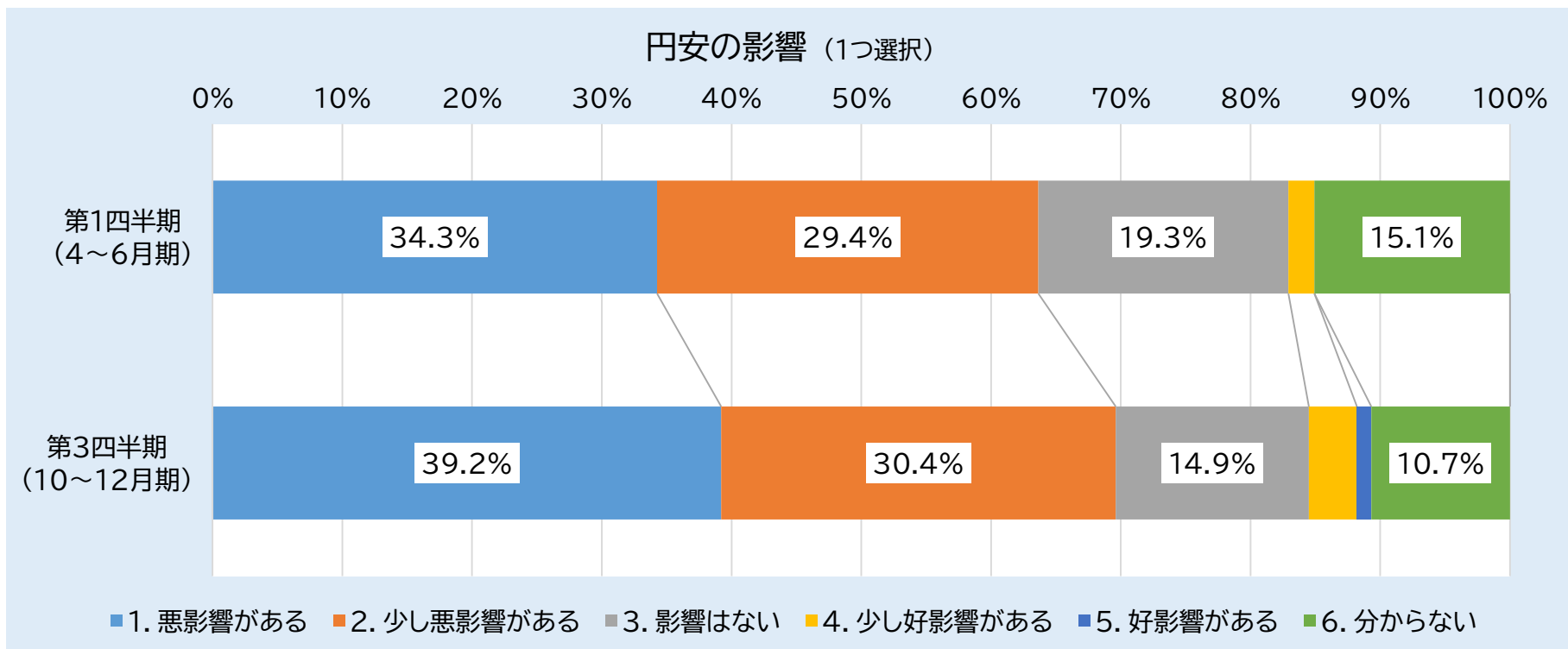
- 円安の影響について尋ねたところ、「悪影響がある」が最も多かった。
- 「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、全体の約3分の2を占めた。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

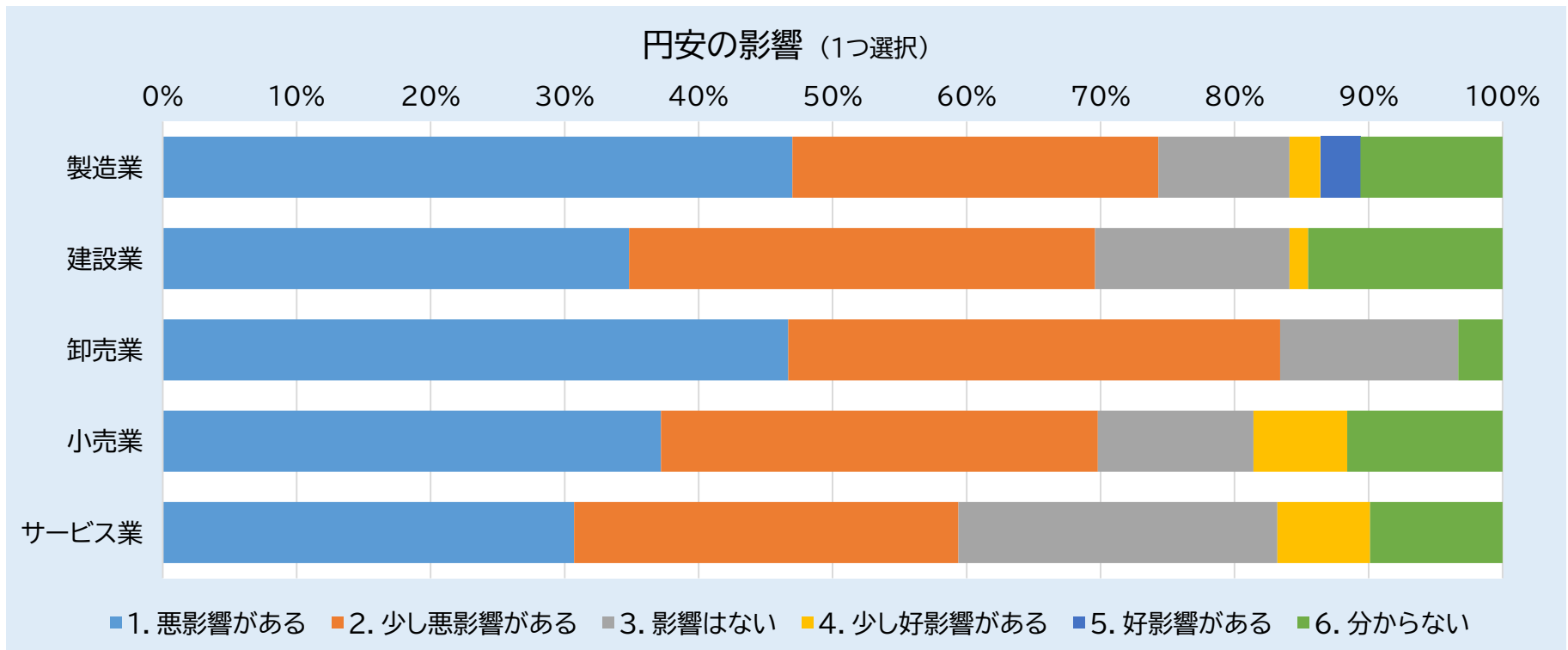
## 円安の影響（第1四半期との比較）

- 円安の影響について第1四半期と第3四半期を比較したところ、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の割合がそれぞれ増加した。
- 一方で、「影響はない」と「分からない」の割合はそれぞれ減少した。



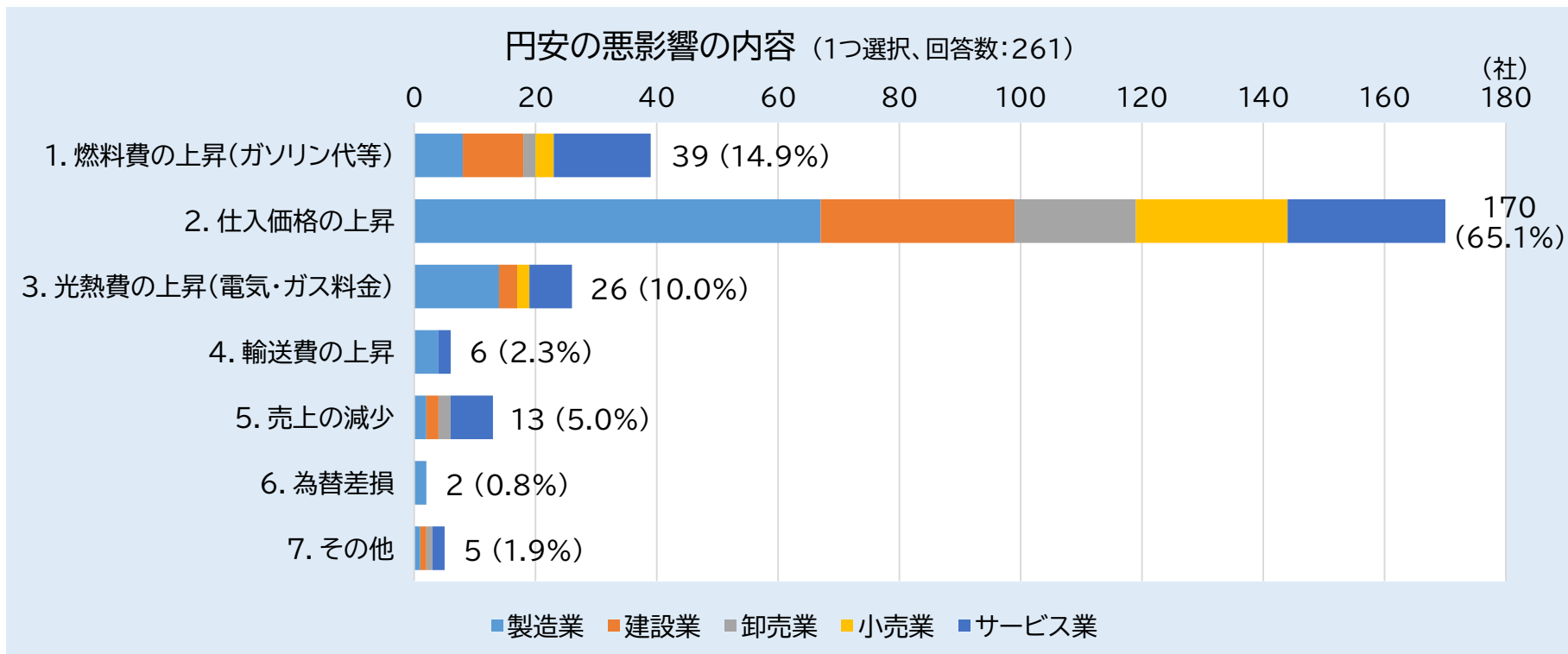
## 円安の影響(業種別)

- 円安の影響について業種別にみると、建設業は「悪影響がある」と「少し悪影響がある」が同数で、その他の業種は「悪影響がある」が最も多かった。
- いずれの業種も、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計が過半数を占めた。



## 円安の悪影響の内容(全体)

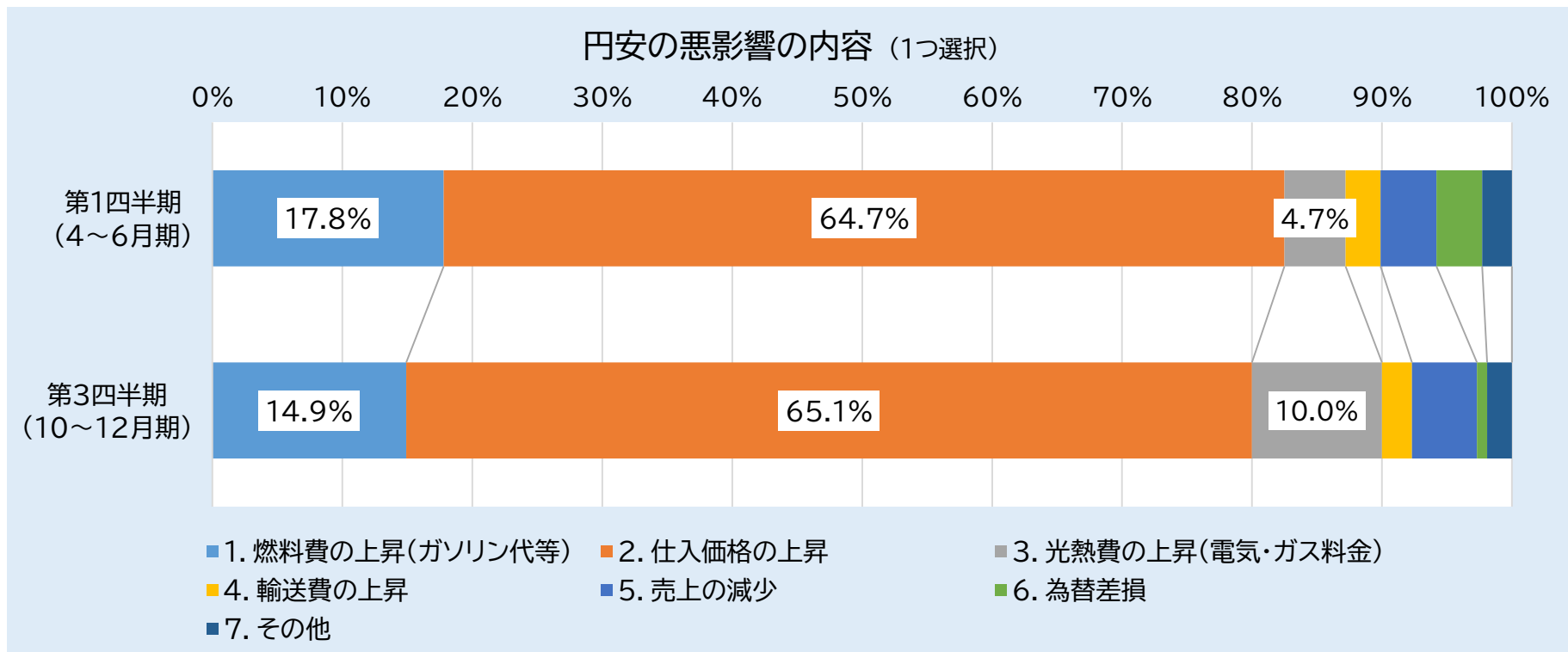
- 円安の悪影響の内容について尋ねたところ、「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 次いで「燃料費の上昇」、「光熱費の上昇」の順に多かった。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

## 円安の悪影響の内容(第1四半期との比較)

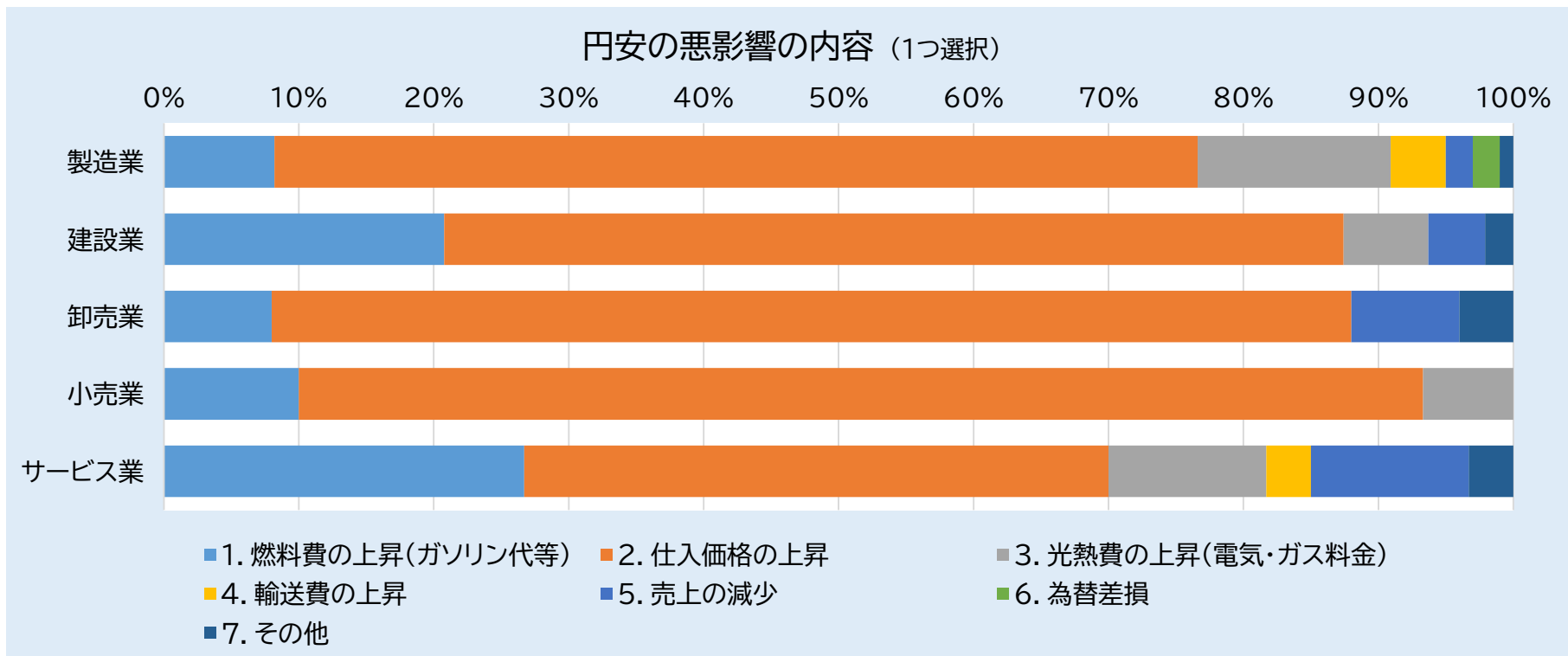
- 円安の悪影響の内容について、第1四半期と第3四半期を比較すると、「光熱費の上昇」の割合が増加した。





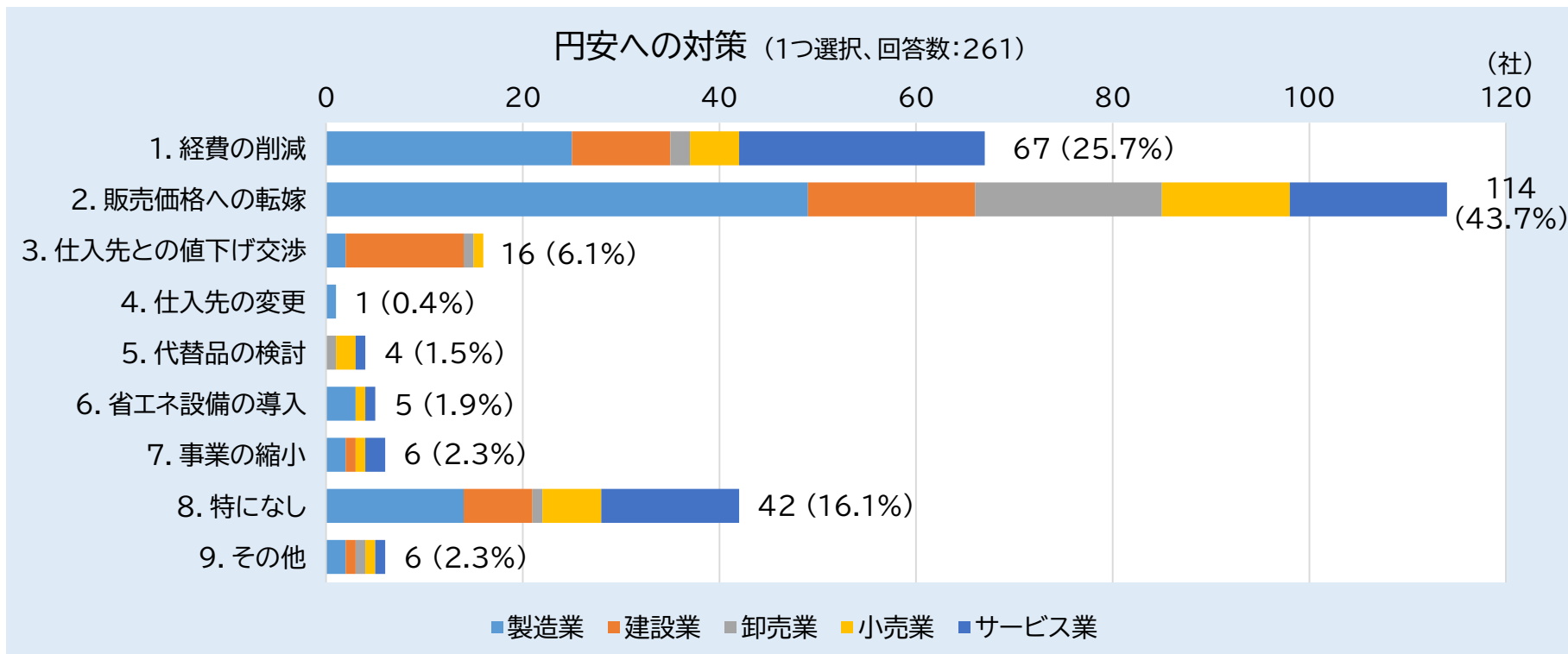
## 円安の悪影響の内容(業種別)

- 円安の悪影響の内容について業種別にみると、すべての業種で「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 建設業とサービス業は、他の業種と比べて「燃料費の上昇」が多かった。



## 円安への対策(全体)

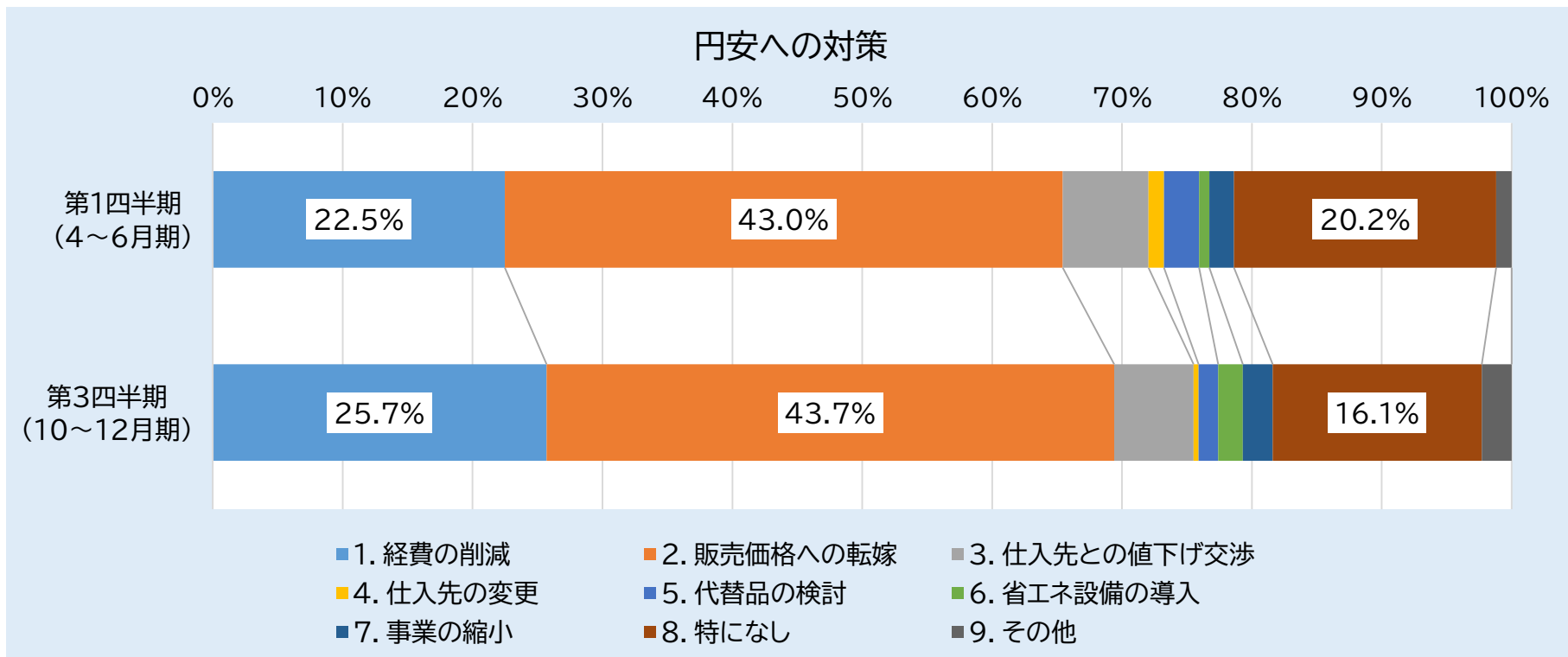
- 円安への対策について尋ねたところ、「販売価格への転嫁」が最も多く、次いで「経費の削減」、「特になし」の順に多かった。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

## 円安への対策(第1四半期との比較)

- 円安への対策について第1四半期と第3四半期を比較したところ、「経費の削減」と「販売価格への転嫁」の割合はそれぞれ増加し、「特になし」の割合は減少した。



1. 調査概要

2. 全体

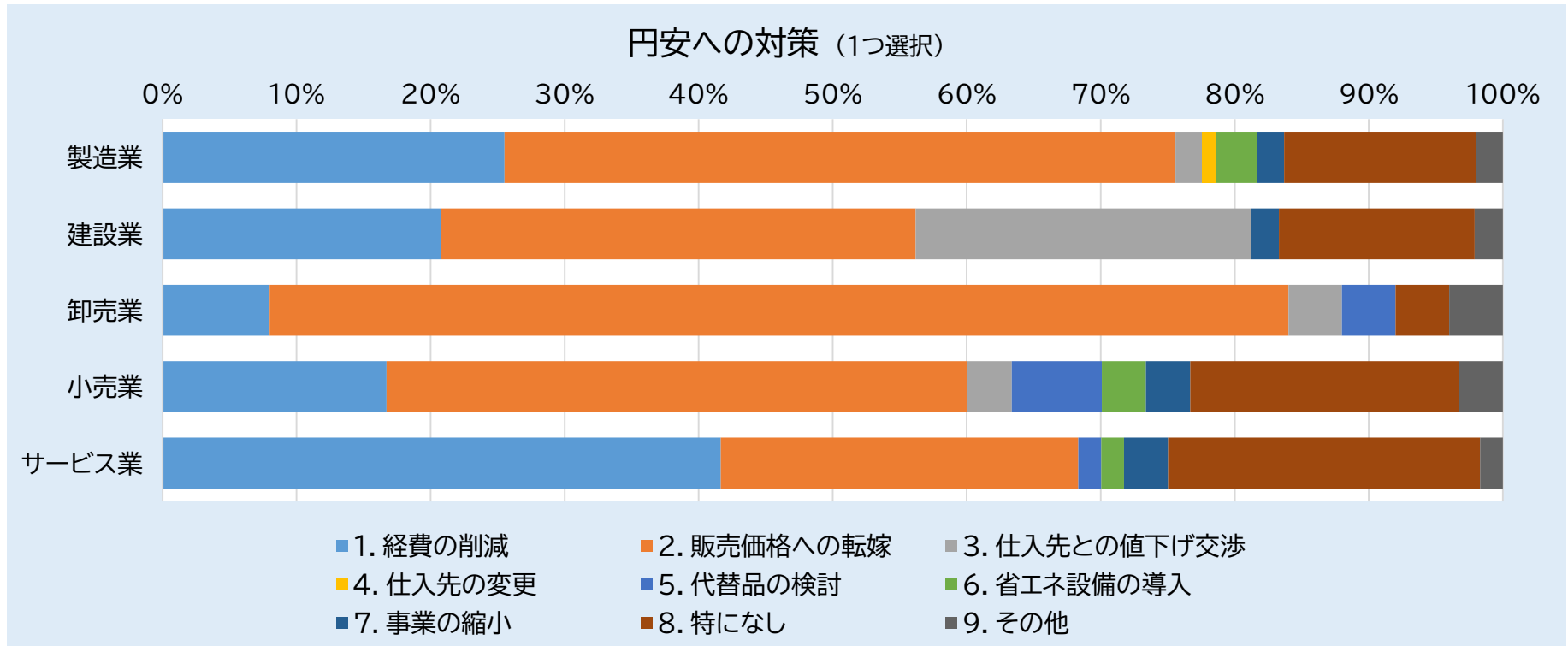
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 円安への対策（業種別）

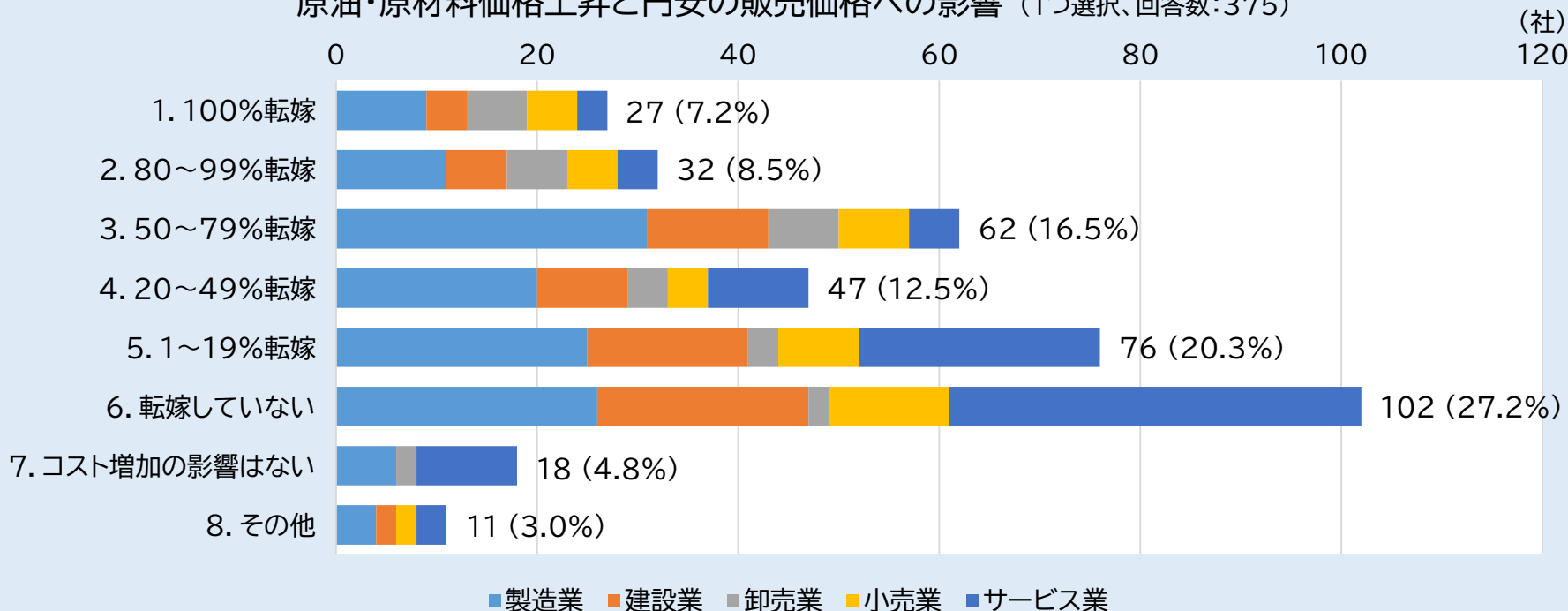
- 円安への対策について業種別にみると、サービス業では「経費の削減」が最も多く、その他の業種では「販売価格への転嫁」が最も多かった
- 建設業は、「仕入先との値下げ交渉」が他の業種と比べて多かった。



## 原油・原材料価格上昇と円安の販売価格への影響（全体）

- 原油・原材料価格上昇と円安による販売価格への影響について尋ねたところ、「転嫁していない」が最も多かった。
- 全体の6割が、価格転嫁率50%未満であった。  
 （「転嫁していない」、「1～19%転嫁」、「20～49%転嫁」の合計）

原油・原材料価格上昇と円安の販売価格への影響（1つ選択、回答数：375）



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

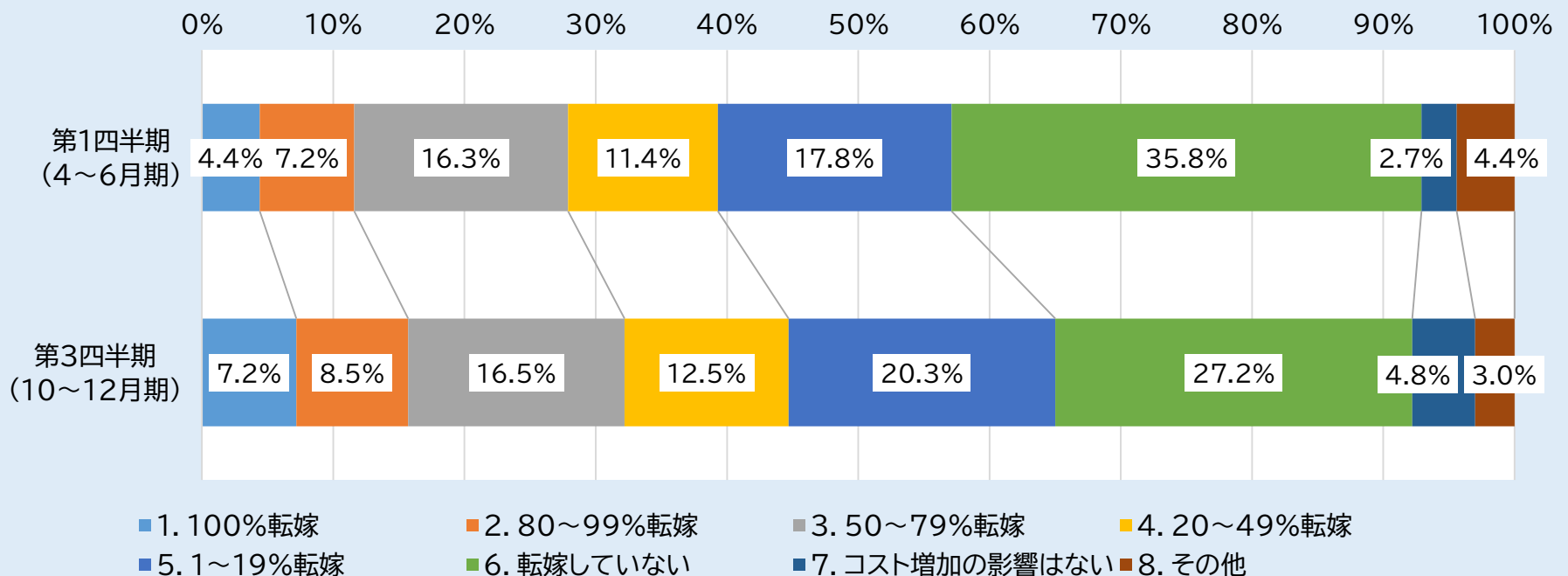
4. 業種別

5. 追加設問

## 原油・原材料価格上昇と円安の販売価格への影響(第1四半期との比較)

- 原油・原材料価格上昇と円安による販売価格への影響について、第1四半期と第3四半期を比較したところ、「転嫁していない」の割合は減少した。
- 一方で、販売価格へ転嫁した企業の割合は、すべての区分で第1四半期よりも増加した。

原油・原材料価格上昇と円安の販売価格への影響 (1つ選択)



## 原油・原材料価格上昇と円安の販売価格への影響（業種別）

- 原油・原材料価格上昇と円安による販売価格への影響について、業種別にみると、卸売業は他の業種と比べて価格転嫁の割合が高かった。
- サービス業は、他の業種と比べて「転嫁していない」が多かった。

原油・原材料価格上昇と円安の販売価格への影響（1つ選択）

